

都市計画道路 鈴鹿亀山道路  
環境影響評価  
説明資料

令和2年2月7日

三重県

## 説明の流れ

1. 鈴鹿亀山道路の事業の概要
2. 手続きの流れ
3. 環境影響評価の項目
4. 環境影響評価の結果
5. 総合評価

# 1. 鈴鹿亀山道路の事業の概要

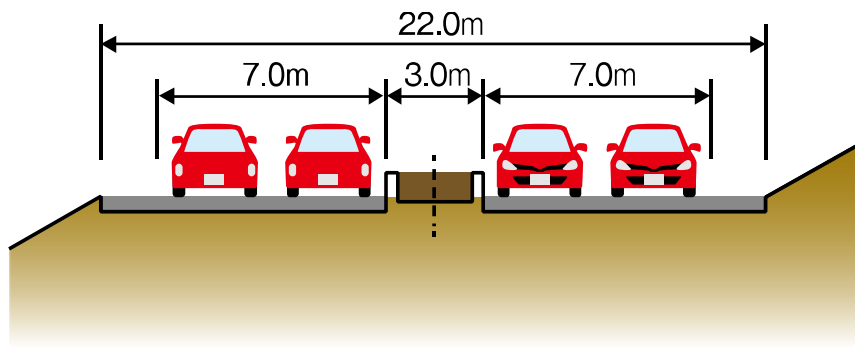
## 1-2 鈴鹿亀山道路の概要

- ◆ 起終点 : 三重県鈴鹿市野辺町字上ノ長  
～ 三重県亀山市辺法寺町字大增
- ◆ 計画延長 : 約10.5 km
- ◆ 車線数 : 4車線
- ◆ 設計速度 : 80 km/h

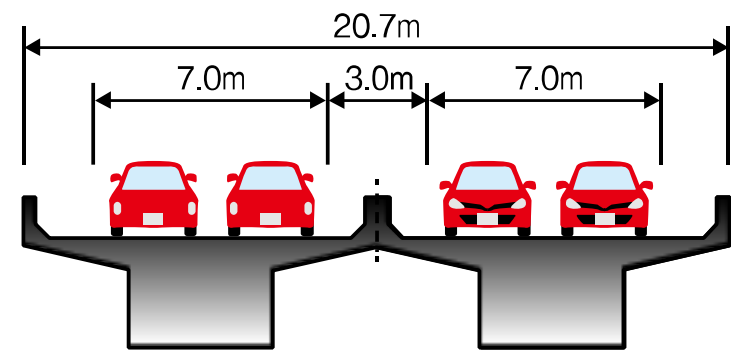




標準横断図（標準幅員：W = 土工部22.0m、橋梁・高架部20.7m）

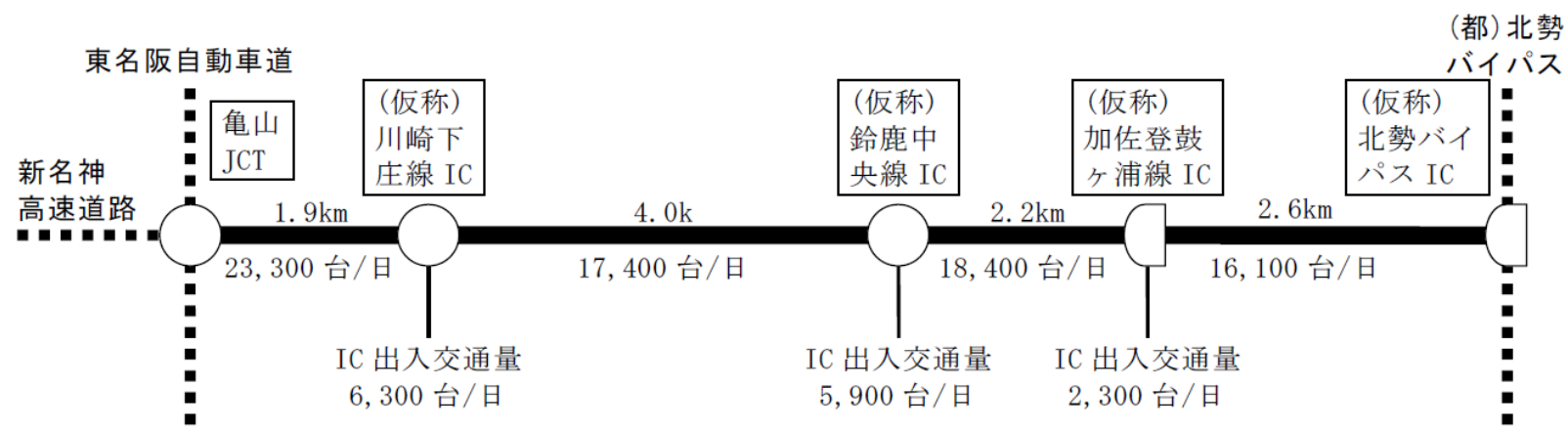


【土工部（盛土・切土）】



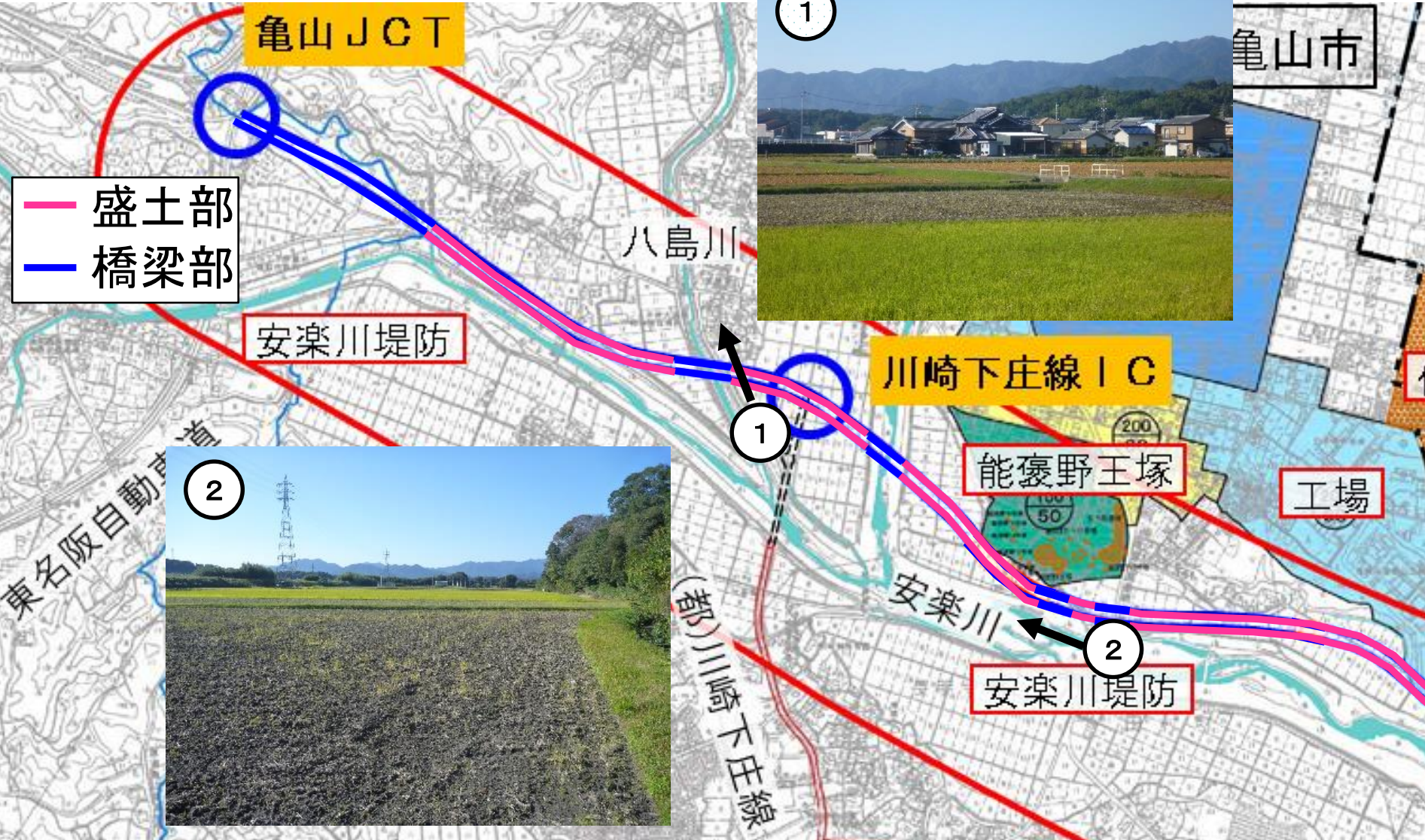
【橋梁・高架部】

連結位置及び2030年（令和12年）における計画交通量



# 1-3 鈴鹿亀山道路 ルートの概要(1/4)

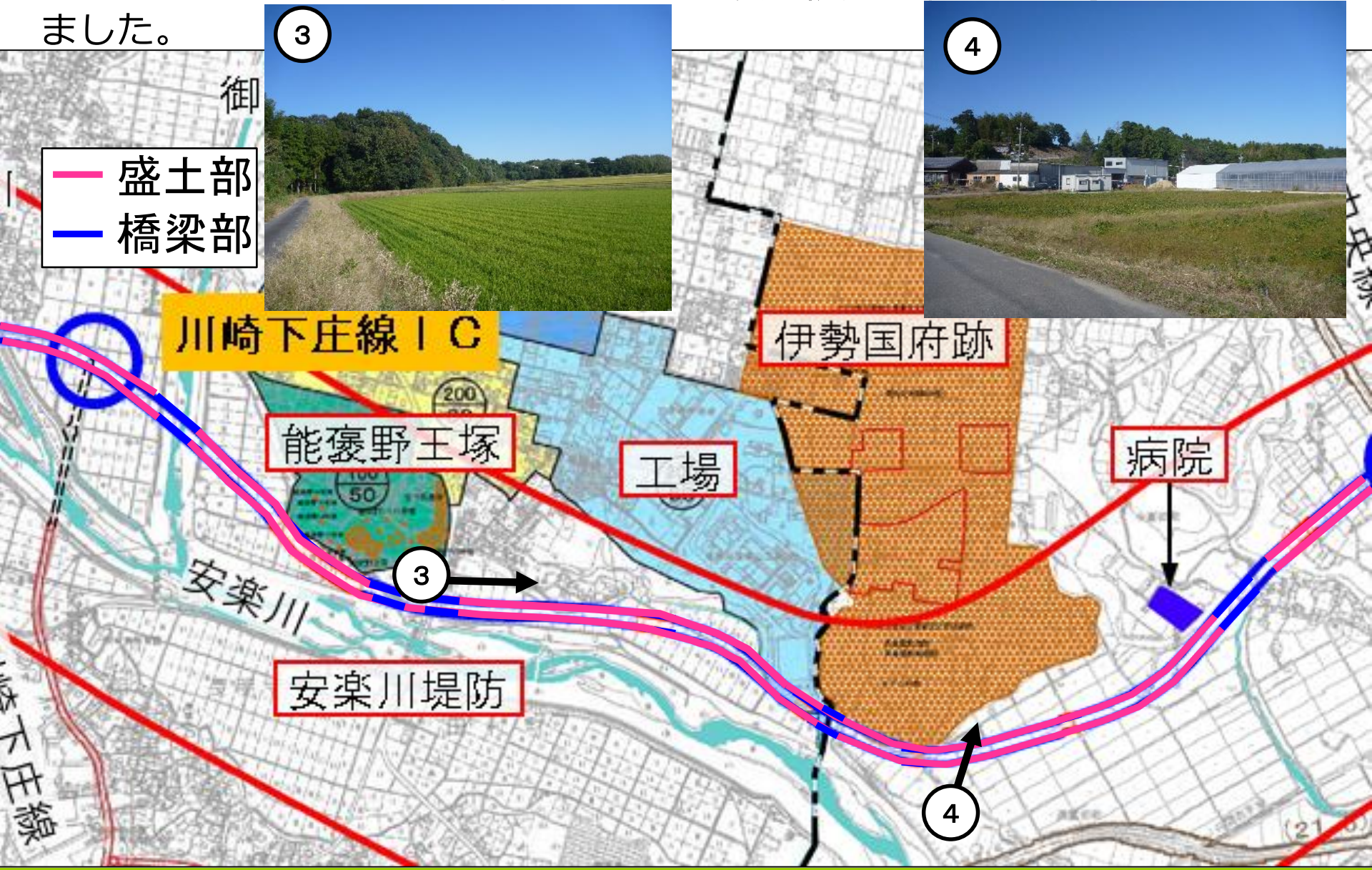
鈴鹿亀山道路のルートは、安楽川、八島川、御幣川、能褒野王塚古墳等を考慮し設定しました。





# 1-3 鈴鹿亀山道路 ルートの概要(2/4)

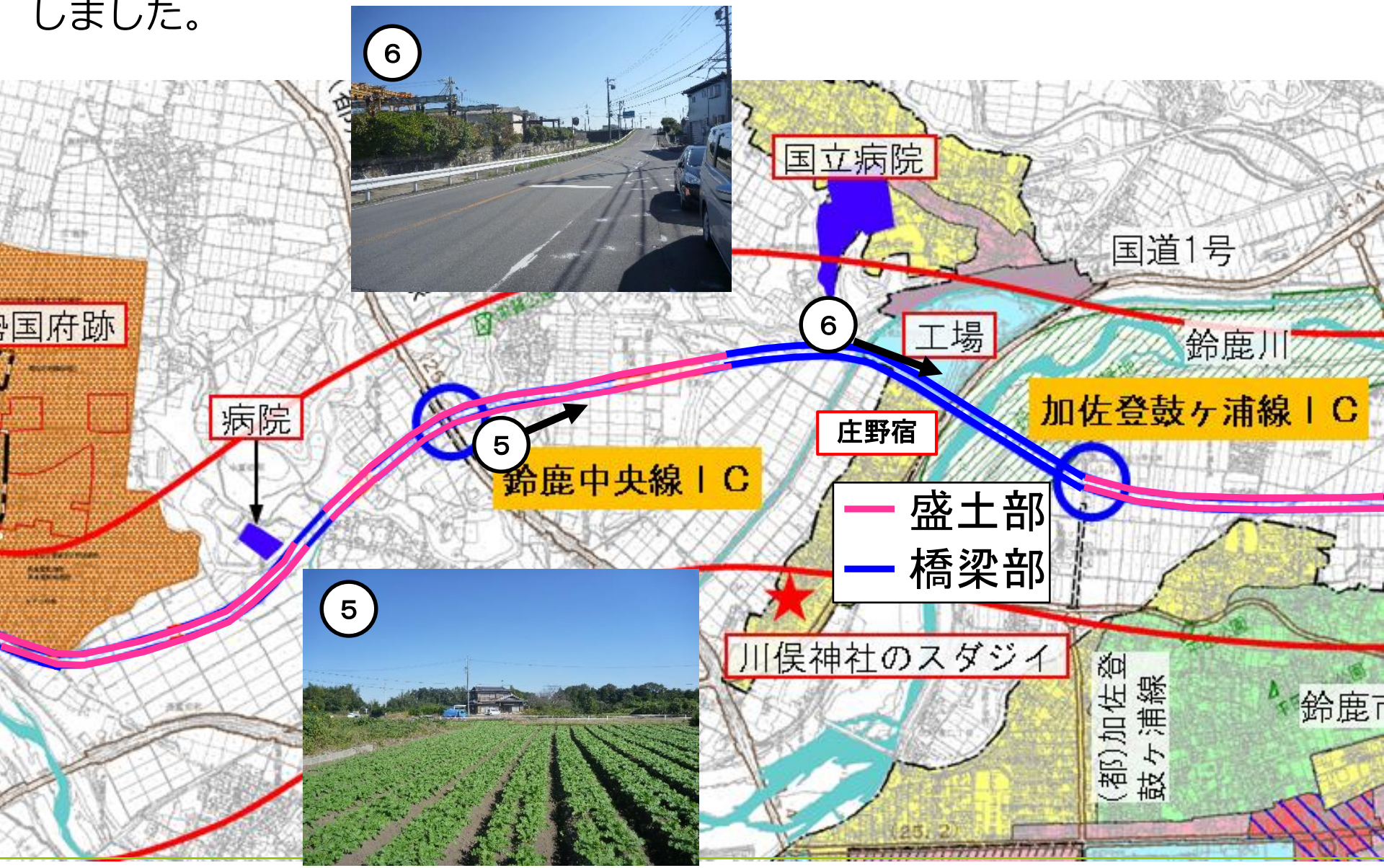
鈴鹿亀山道路のルートは、能褒野王塚古墳や伊勢国府跡等を考慮し設定しました。





# 1-3 鈴鹿亀山道路 ルートの概要(3/4)

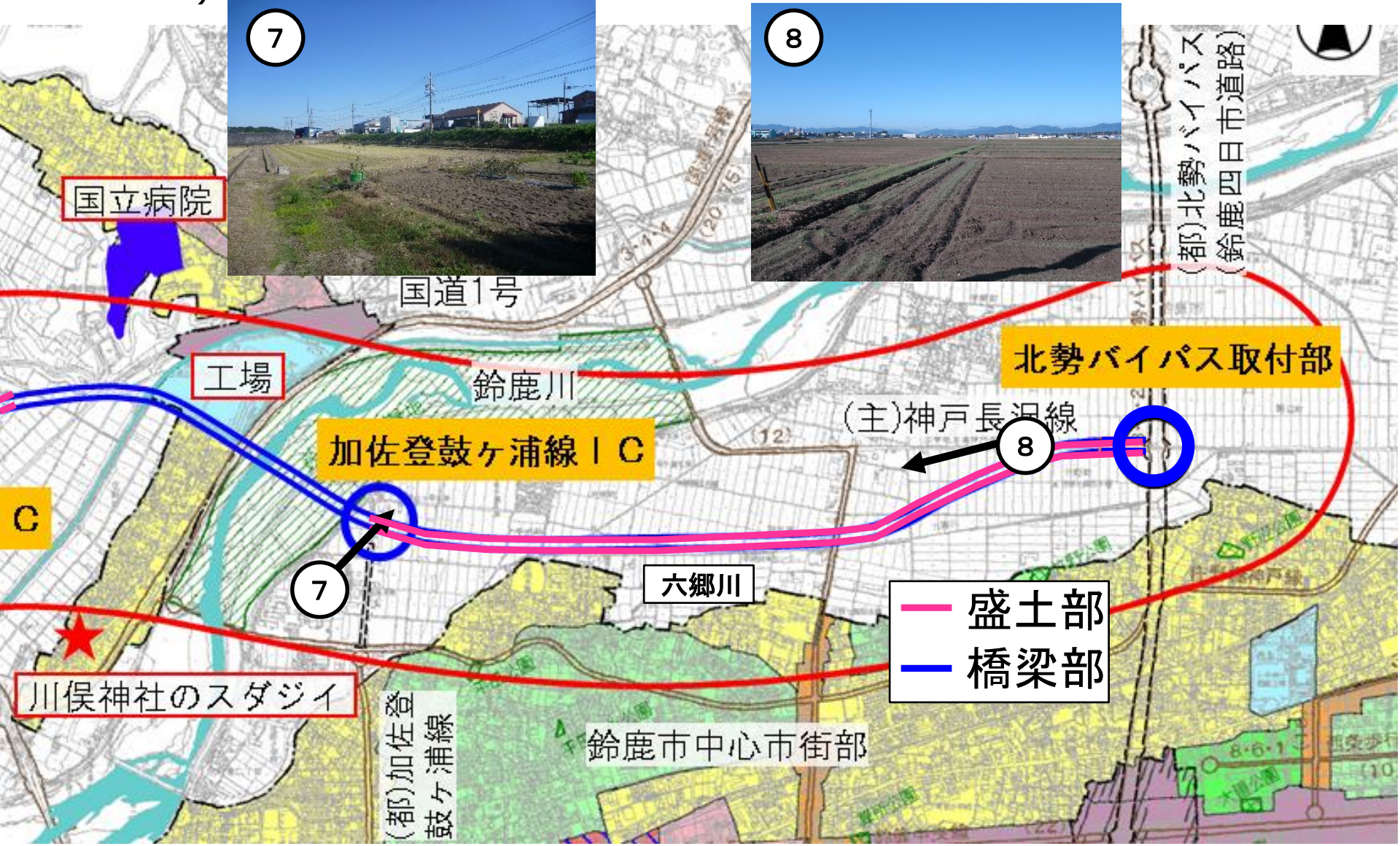
鈴鹿亀山道路のルートは、能褒野王塚古墳や鈴鹿川渡河部等を考慮し設定しました。





# 1-3 鈴鹿亀山道路 ルートの概要(4/4)

鈴鹿亀山道路のルートは、土地利用等を考慮し、(都)北勢バイパス(鈴鹿四日市道路)に取付けます。

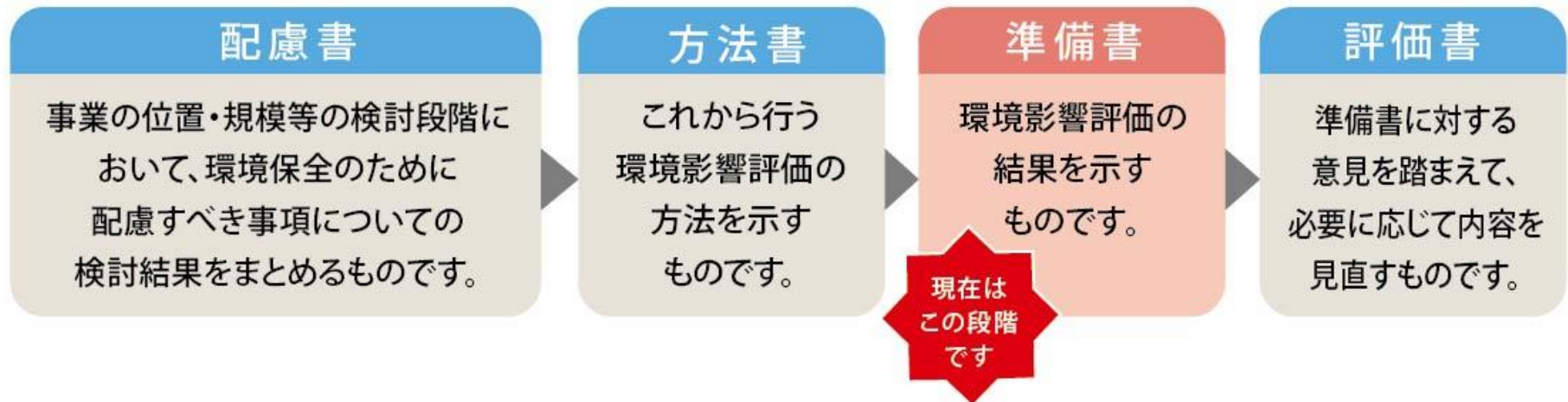


## 2. 手続きの流れ

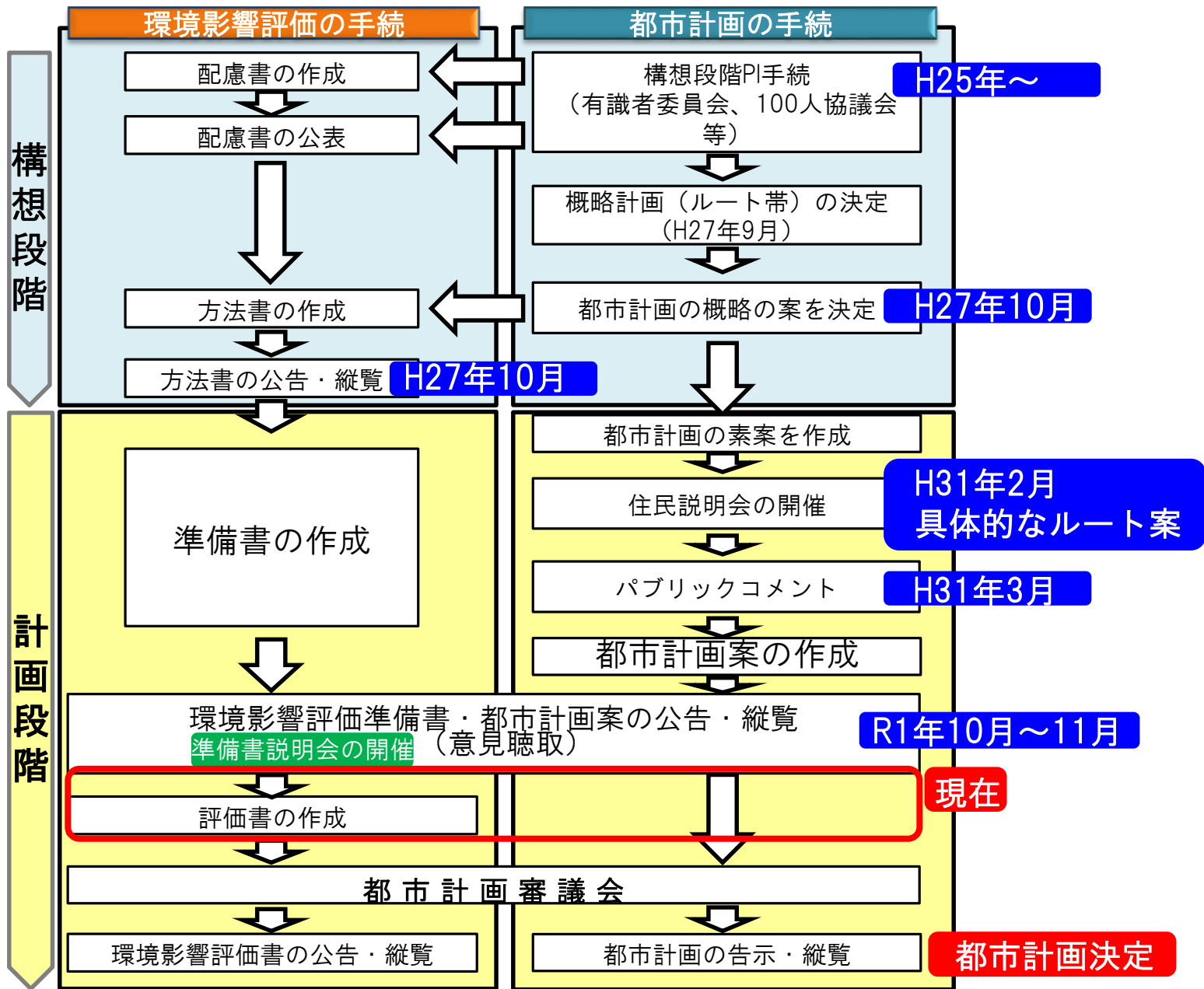
### 環境影響評価 (環境アセスメント)

- 開発事業を行うときに、事業者が、その事業が計画地周辺の環境に与える影響を、事前に調査、予測、評価し、その結果を事業の計画に反映させること。

### 環境影響評価に関する図書

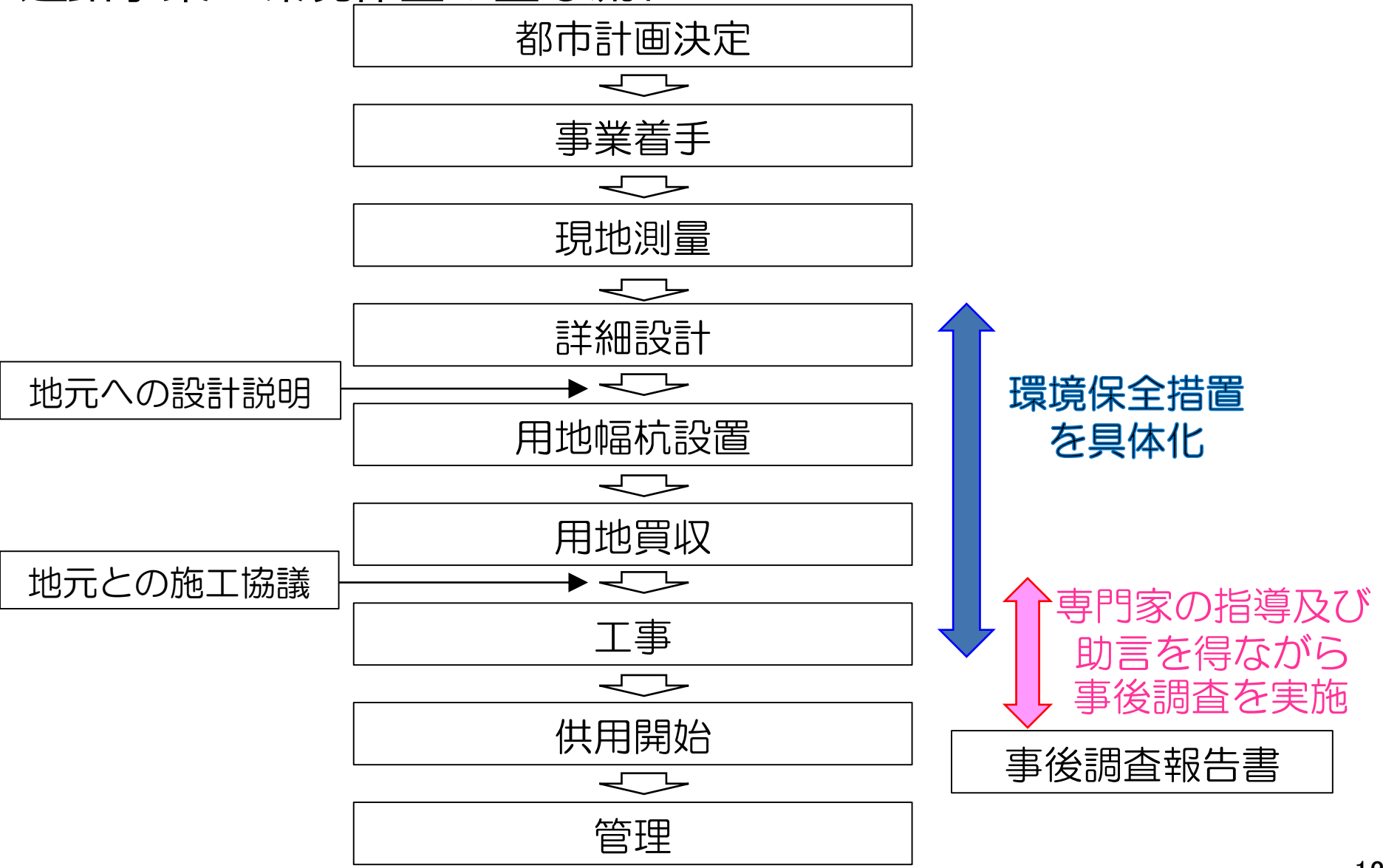








### 道路事業・環境保全の主な流れ



### 3. 環境影響評価の項目

環境要素		大気質			騒音	振動	低周波音	水質	地形及び地質	日照障害	動物	植物	生態系	景観	人と自然との触れ合いの活動の場	歴史的文化的な遺産	廃棄物等
		二酸化窒素	浮遊粒子状物質	粉じん等													
影響要因																	
工事の実施		●	●	●	●	●		●	●		●	●	●			●	●
存在及び供用	道路の存在								●	●	●	●	●	●	●	●	
	自動車の走行	●	●		●	●	●										

■：基準又は目標値、参考値を満足及び影響が無い又は小さいと予測・評価した項目

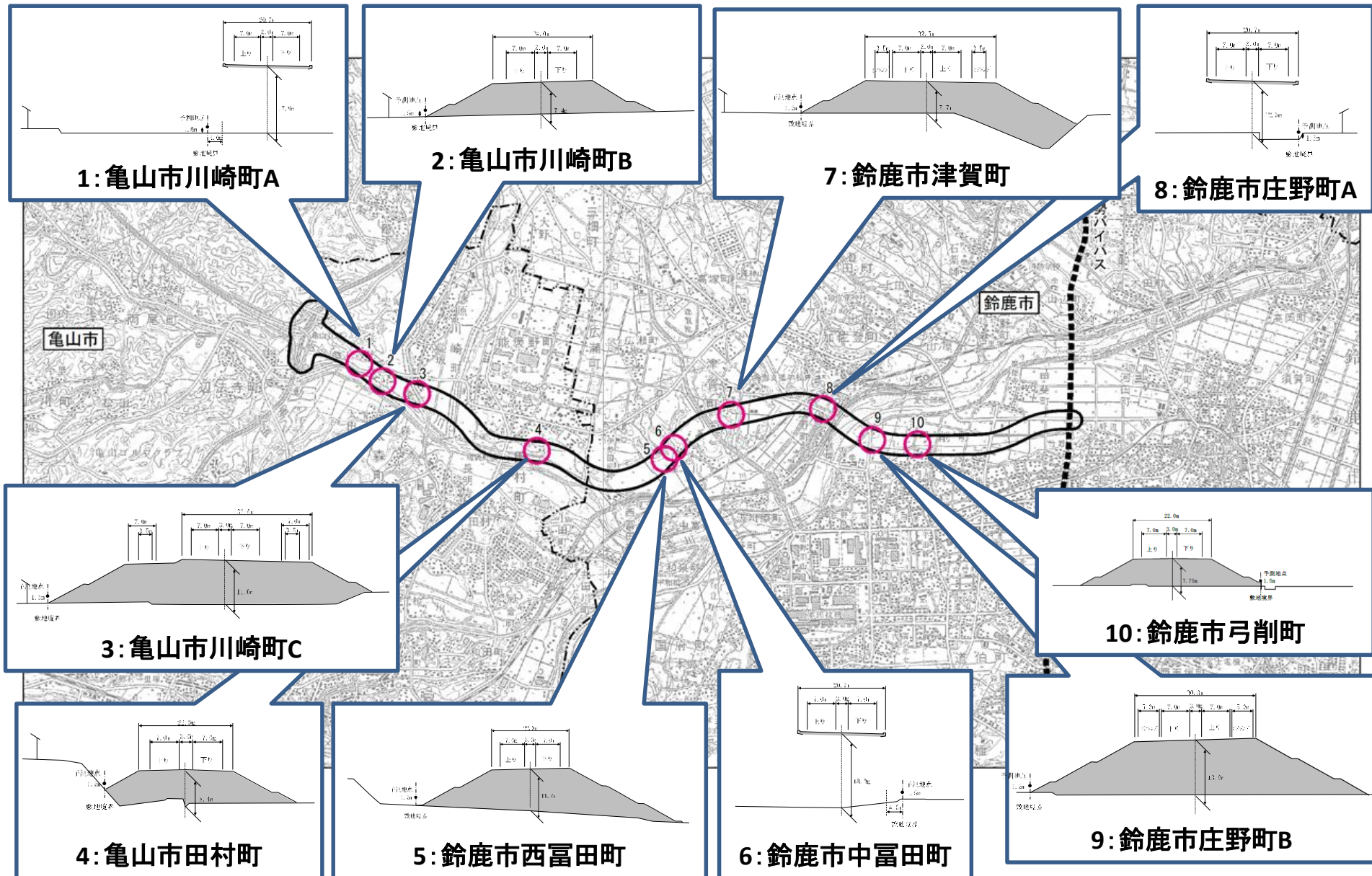
■：環境保全措置を実施することで、回避又は低減されていると評価した項目

## 4. 環境影響評価の結果

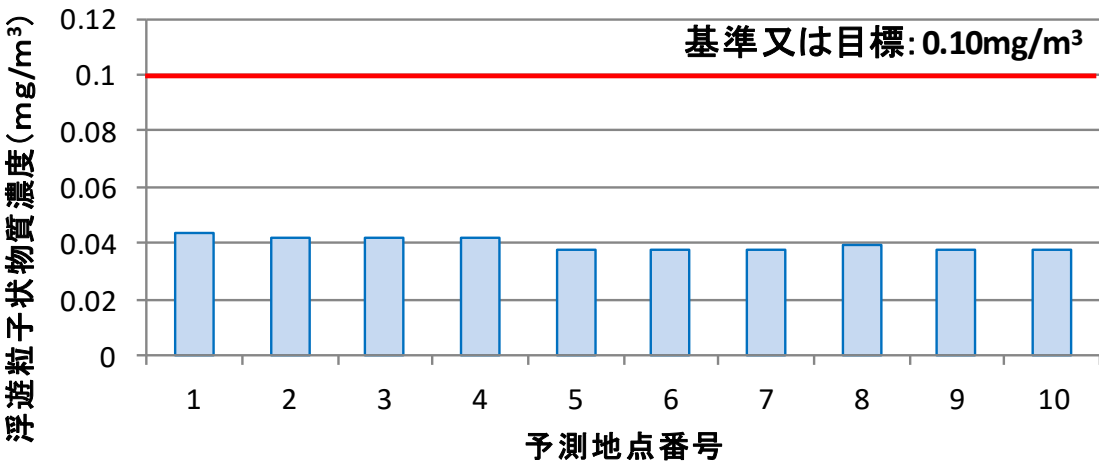
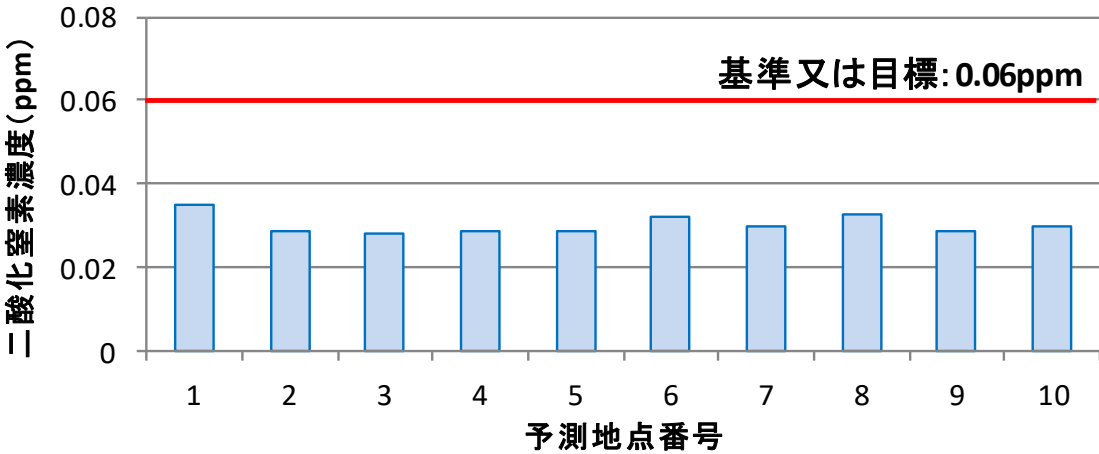
### 4-1.環境の自然的構成要素の 良好な状態の保持に係る項目

大気質、騒音、振動、低周波音、  
水質、地形及び地質、日照阻害

## ① 建設機械の稼働に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質：予測地点



①建設機械の稼働に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質：予測・評価結果



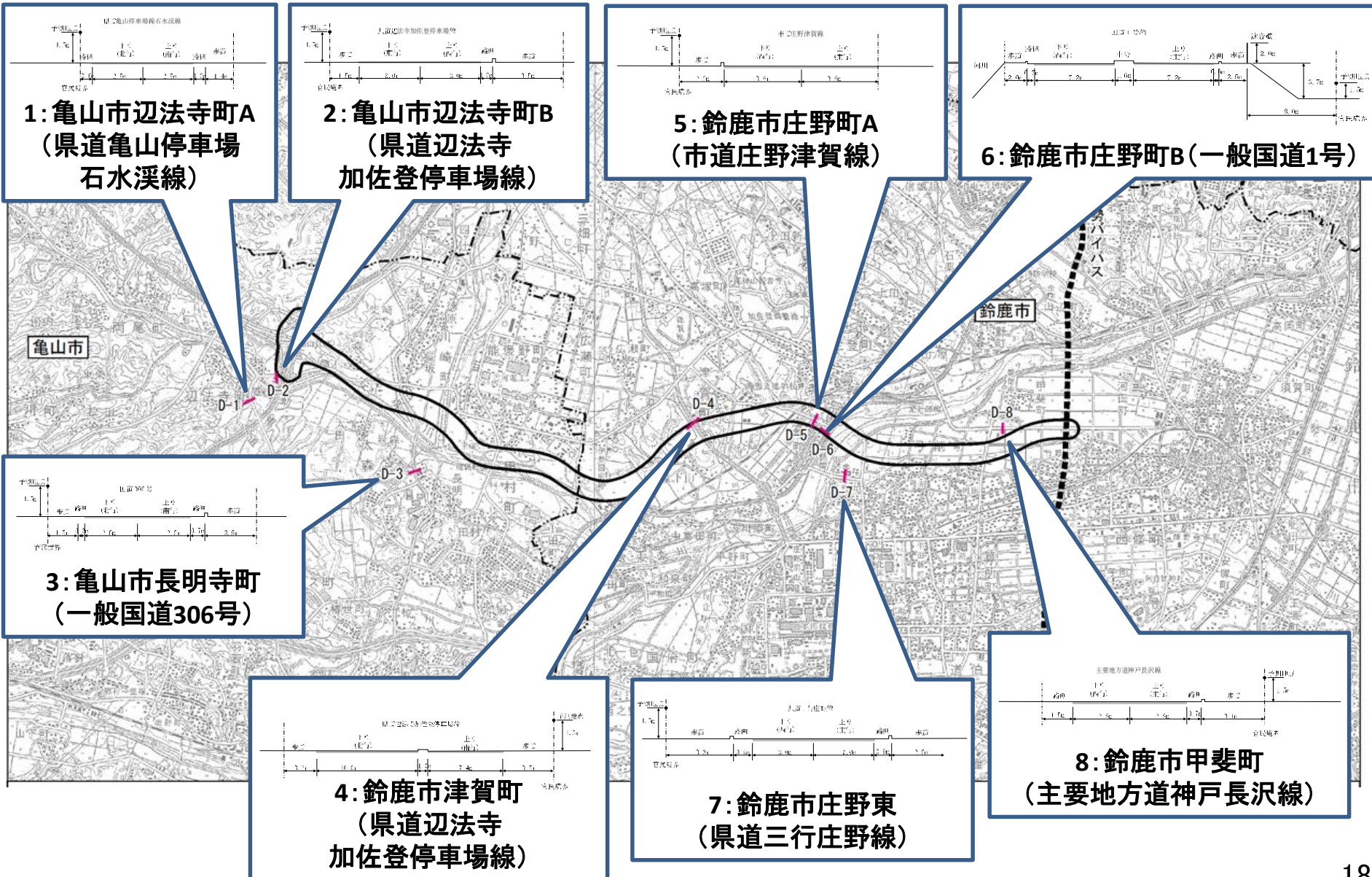
**【予測結果】**  
 二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、全ての地点において、基準又は目標値（環境基準値）を下回っている。

**【環境保全措置】**  
 ・作業者に対する建設機械の取り扱いの指導

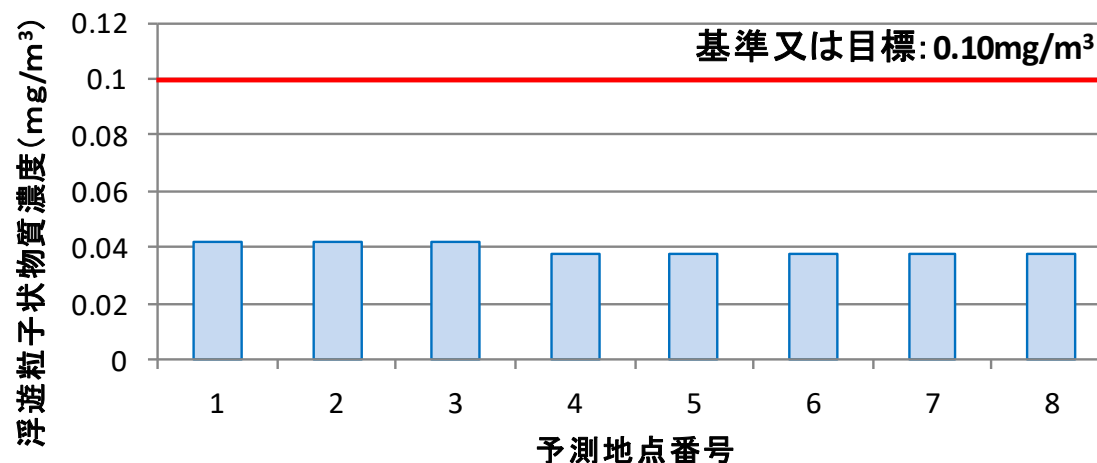
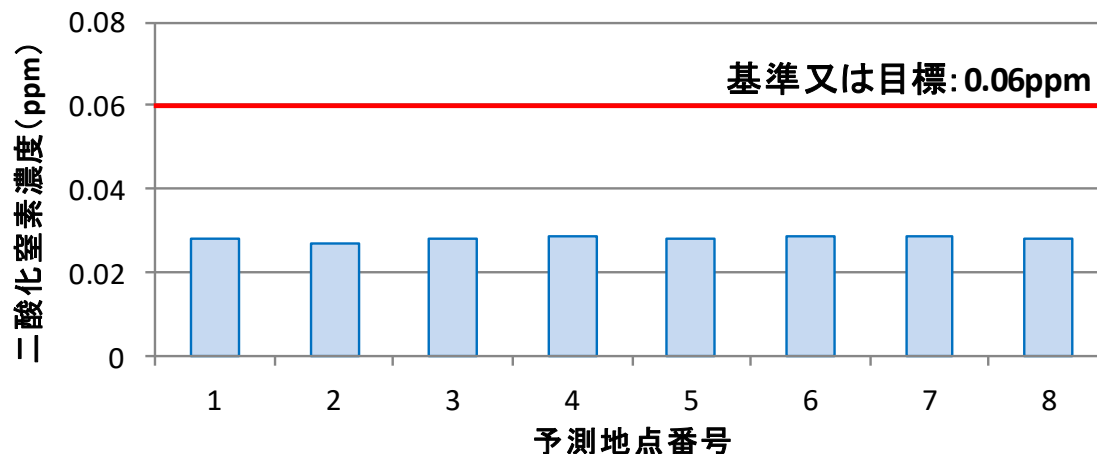
- 【評価結果】**
- ✓ 回避又は低減に係る評価 : ○
  - ✓ 基準又は目標との整合性の検討 : ○



② 工事用車両の運行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質：予測地点



## ② 工事用車両の運行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質：予測・評価結果



**【予測結果】**  
 二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、全ての地点において、基準又は目標値（環境基準値）を下回っている。

**【環境保全措置】**

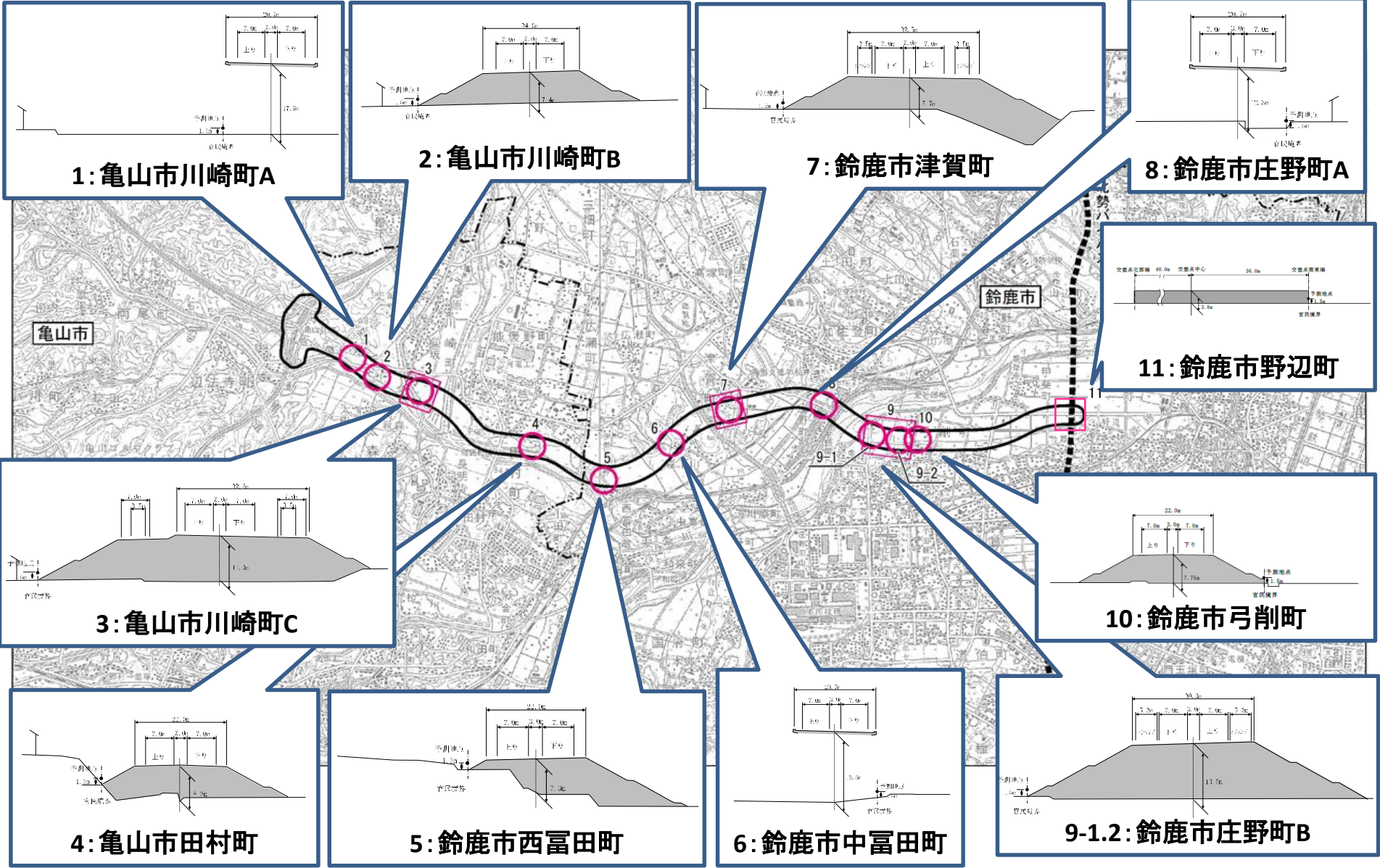
- ・ 工事用車両の運行の分散
- ・ 作業者に対する工事用車両の運行の指導

**【評価結果】**

- ✓ 回避又は低減に係る評価 : ○
- ✓ 基準又は目標との整合性の検討 : ○

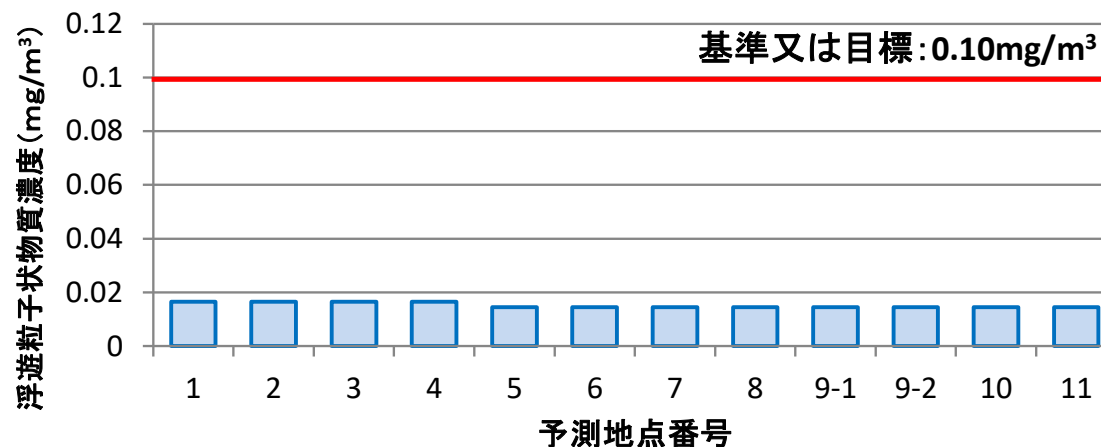
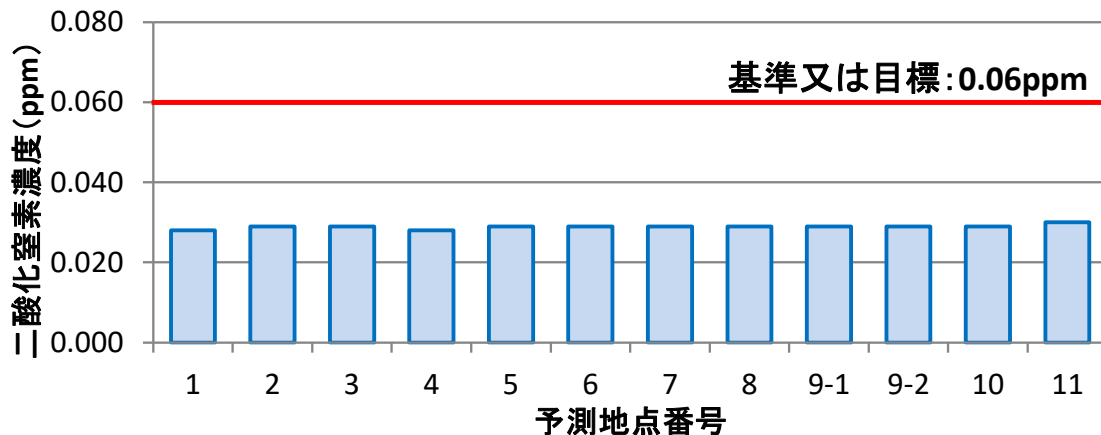


③ 自動車の走行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質：予測地点



注) 予測地点3、7、9は平面予測の代表的な断面を示しています。

## ③ 自動車の走行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質：予測・評価結果



**【予測結果】**  
 二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、全ての地点において、基準又は目標値（環境基準値）を下回っている。

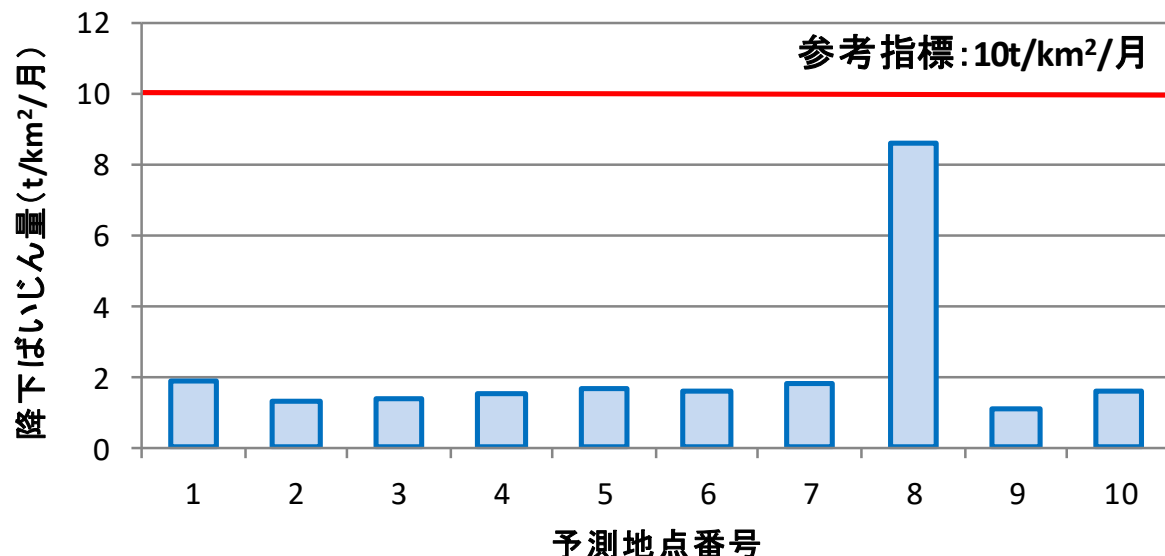
**【評価結果】**

- ✓ 回避又は低減に係る評価 : ○
- ✓ 基準又は目標との整合性の検討 : ○

## ④建設機械の稼働に係る粉じん等

： 予測地点…建設機械の稼働に係る二酸化窒素・浮遊粒子状物質と同じ

： 予測・評価結果



注) 降下ばいじん量は、四季(春、夏、秋、冬)の予測結果の最大値を示しています。

注) 予測地点8の予測結果が高い値となるのは、発生源と予測地点の距離が他の地点よりも近いからです。

### 【予測結果】

降下ばいじん量は、全ての地点において、参考となる指標を下回っている。

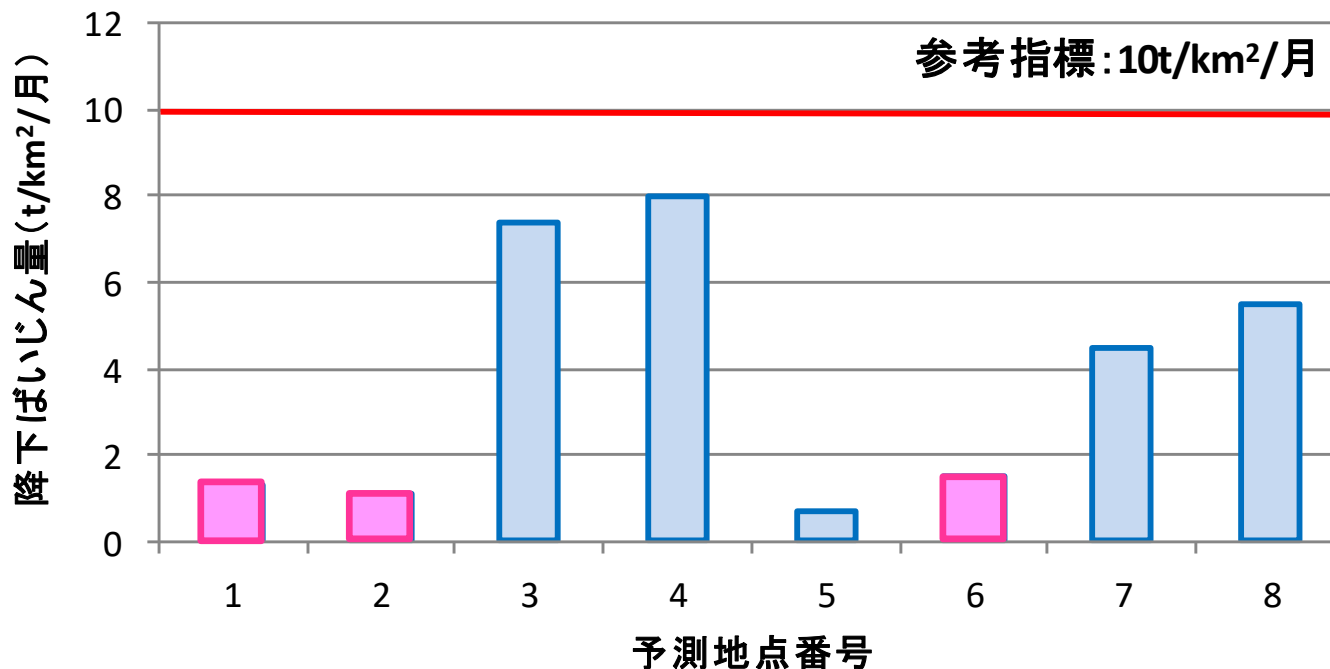
### 【環境保全措置】

- ・ 工事中の散水
- ・ 作業者に対する建設機械の取り扱いの指導
- ・ 建設機械の集中稼働を避けた効率的稼働
- ・ 工事施工ヤードへの仮囲いの設置

### 【評価結果】

✓ 回避又は低減に係る評価 : ○

## ⑤ 工事用車両の運行に係る粉じん等 : 予測・評価結果



**【環境保全措置】**

- ・タイヤ等の洗浄
- ・工事用車両の運行の分散

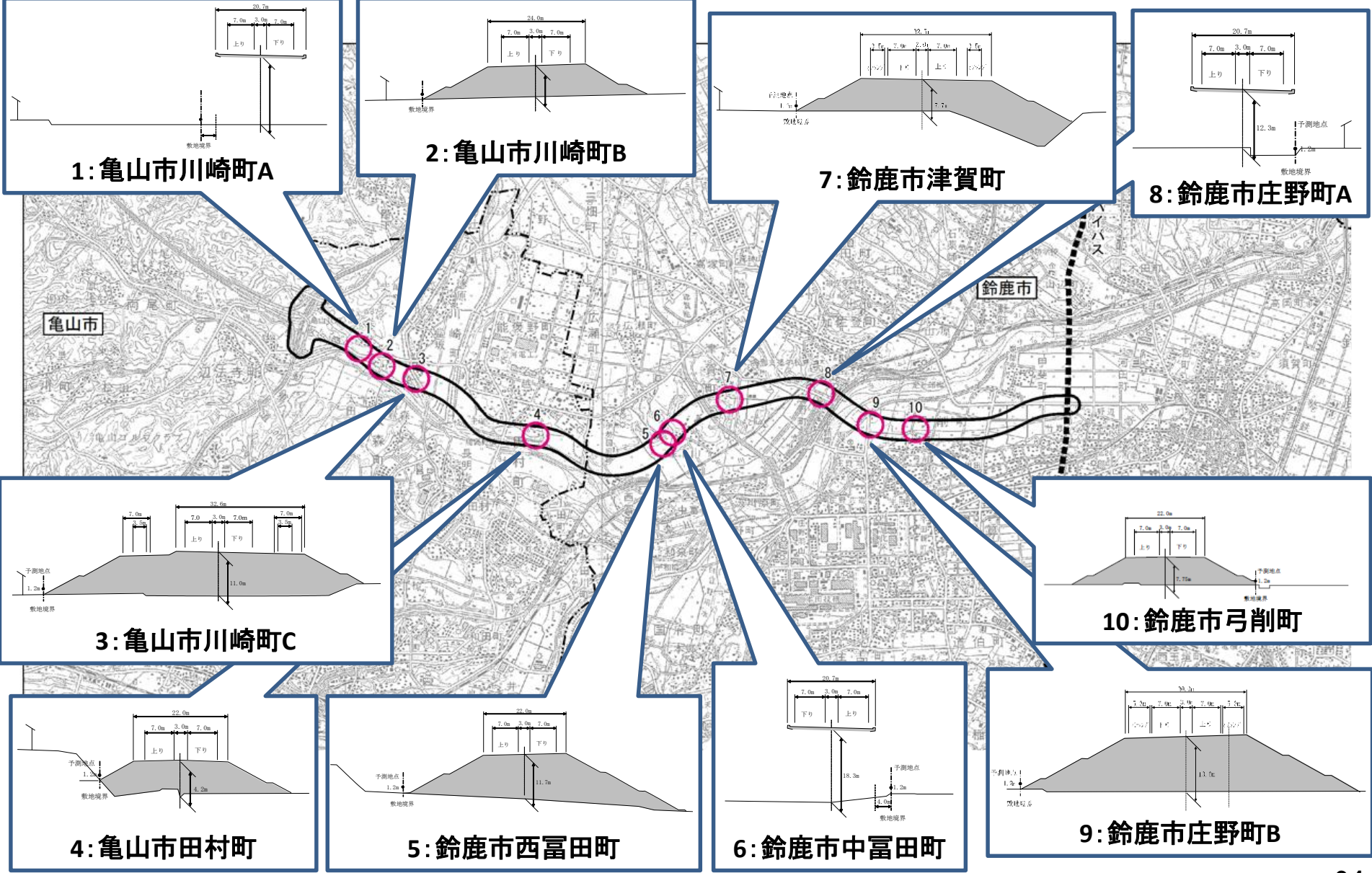
注) 予測地点番号1、2、6の降下ばいじん量は、環境保全措置として「タイヤ等の洗浄」を実施した場合の予測結果を示しています。

**【予測結果】**  
 降下ばいじん量は、全ての地点において、参考となる指標を下回っている。  
 ※予測地点1、2、6は、環境保全措置としてタイヤ等の洗浄を行うことにより、参考となる指標との整合性が図られる。

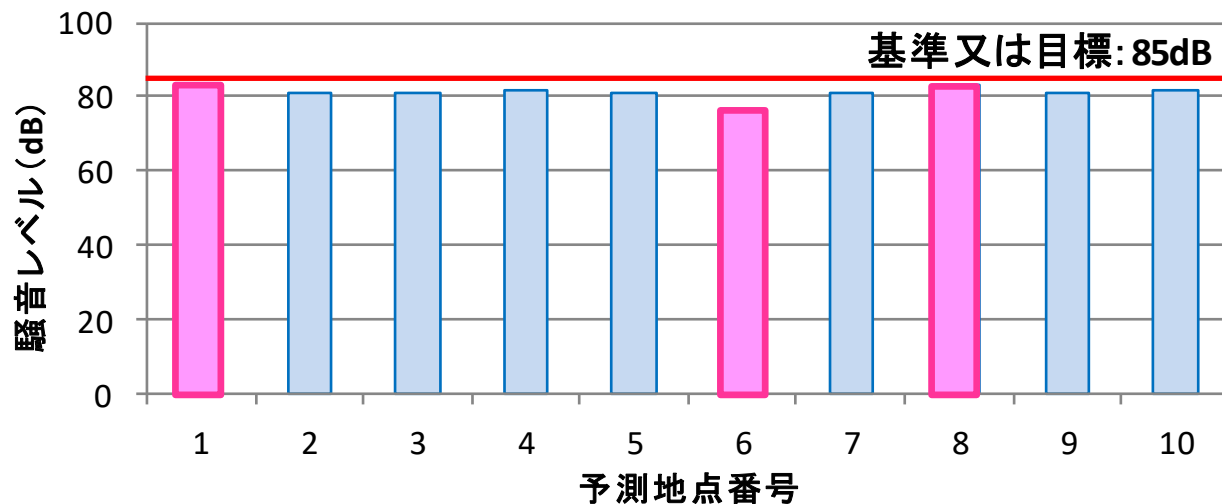
**【評価結果】**      ✓ 回避又は低減に係る評価      :      ○



① 建設機械の稼働に係る騒音：予測地点



## ①建設機械の稼働に係る騒音：予測・評価結果



注) 予測地点1、6、8の騒音レベルは、環境保全措置として「防音パネルH=2.0m設置」を実施した場合の予測結果を示しています。

### 【予測結果】

騒音レベルは、全ての地点において、基準又は目標値（騒音規制基準）を下回っている。

※ 予測地点1、6、8は、環境保全措置として防音パネル又はシートを設置することにより、基準又は目標との整合性が図られる。

### 【環境保全措置】

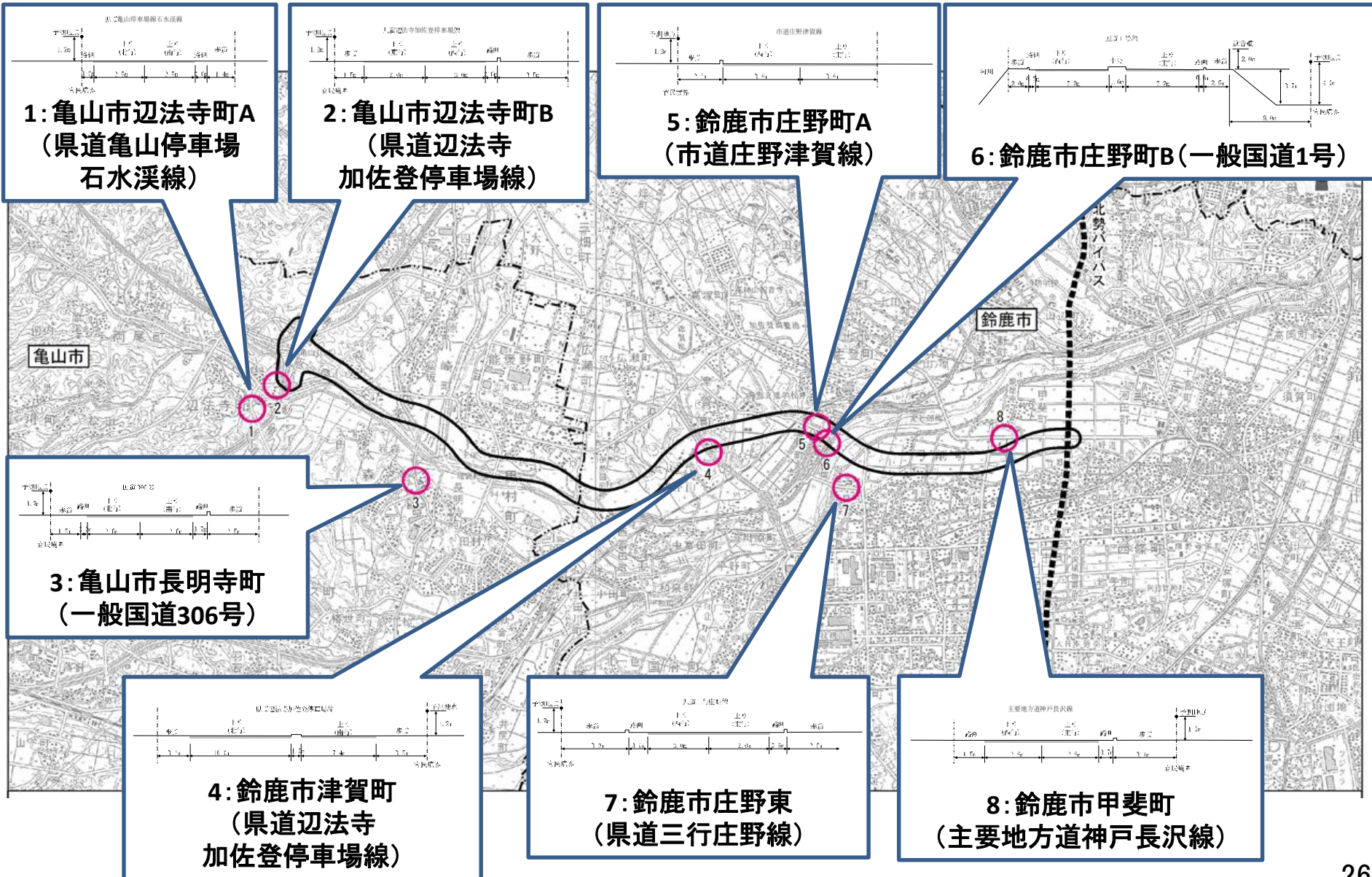
- ・ 防音パネル・シートの設置
- ・ 作業者に対する建設機械の取り扱いの指導
- ・ 建設機械の集中稼働を避けた効率的稼働

### 【評価結果】

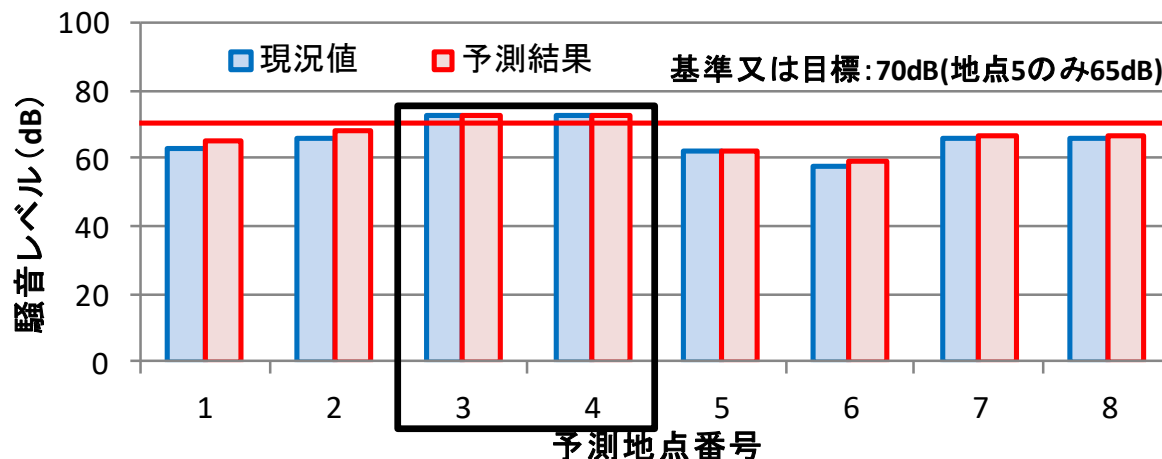
- ✓ 回避又は低減に係る評価 : ○
- ✓ 基準又は目標との整合性の検討 : ○



②工事用車両の運行に係る騒音：予測地点



## ②工事用車両の運行に係る騒音：予測・評価結果



### 【予測結果】

騒音レベルは、予測地点1、2、5～8においては、基準又は目標値（環境基準値）を下回っている。  
 予測地点3、4は環境基準を超過するが、騒音の現況値が環境基準値を超過しているためであり、工事用車両の運行に起因する騒音の増加はない。

### 【環境保全措置】

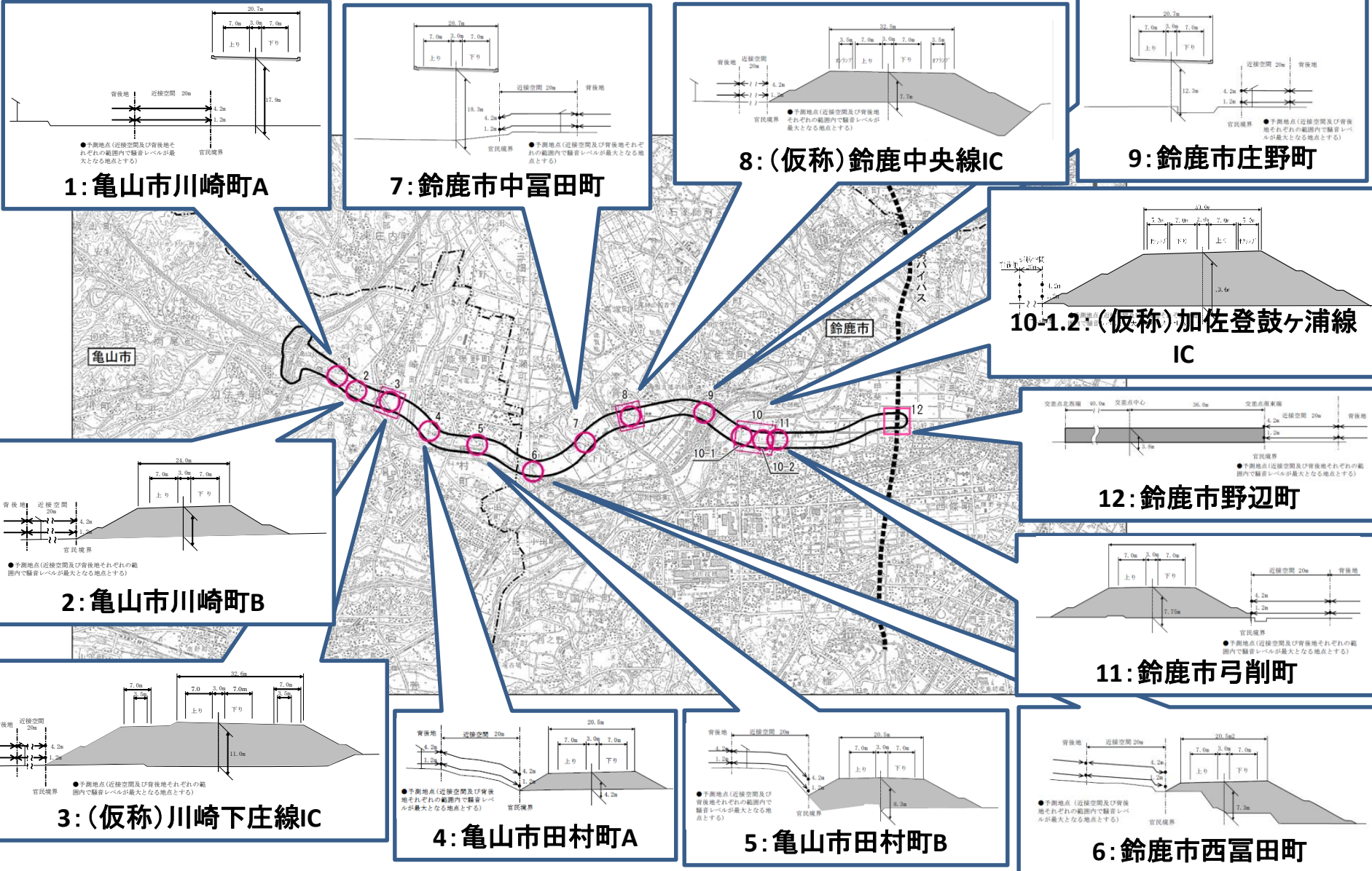
- ・工事用車両の運行の分散
- ・作業者に対する工事用車両の運行の指導

### 【評価結果】

- ✓ 回避又は低減に係る評価 : ○
- ✓ 基準又は目標との整合性の検討 : ○



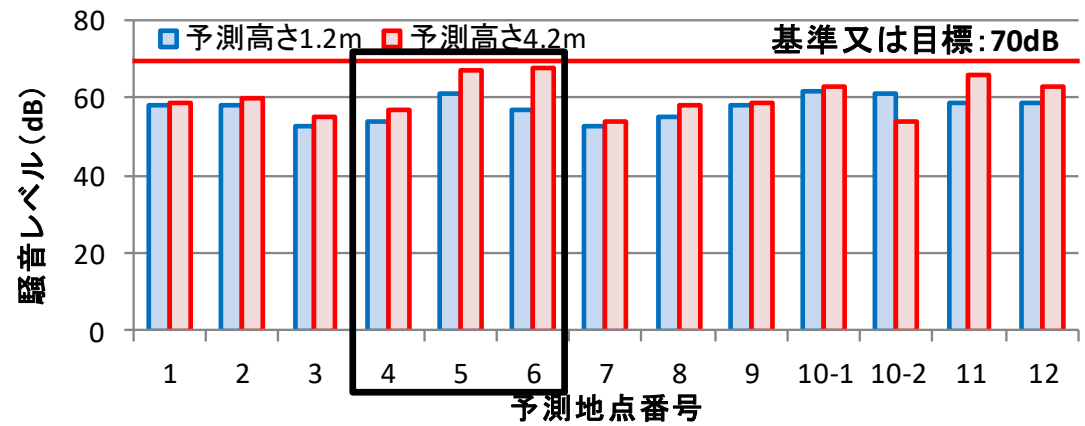
③自動車の走行に係る騒音：予測地点



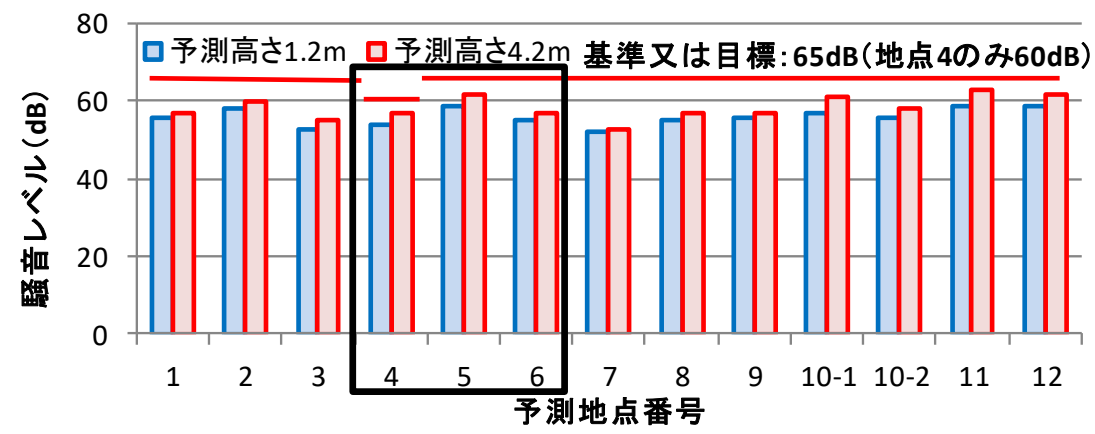
注) 予測地点3、8、10は平面予測の代表的な断面を示しています。

③自動車の走行に係る騒音：予測・評価結果（昼間）

【近接空間】



【背後地】



注) 予測地点番号10-1、10-2は平面予測を行ったうえで、保全すべき対象等の位置を考慮して予測結果を示しています。

注) 予測地点4、5、6の騒音レベルは、環境保全措置として「遮音壁の設置」を実施した場合の予測結果を示しています。

【予測結果】

騒音レベルは、全ての地点において、基準又は目標値（環境基準値）を下回っている。

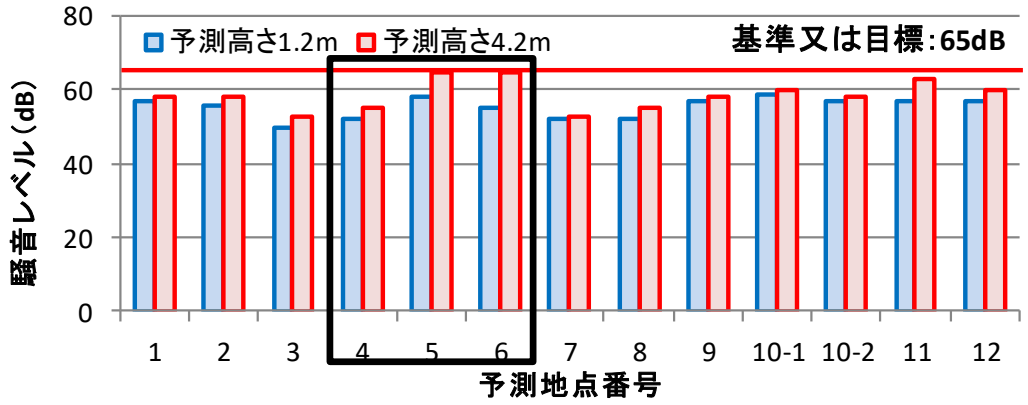
※予測地点4、5、6は、環境保全措置として遮音壁を設置することにより、基準又は目標との整合性が図られる。

【環境保全措置】

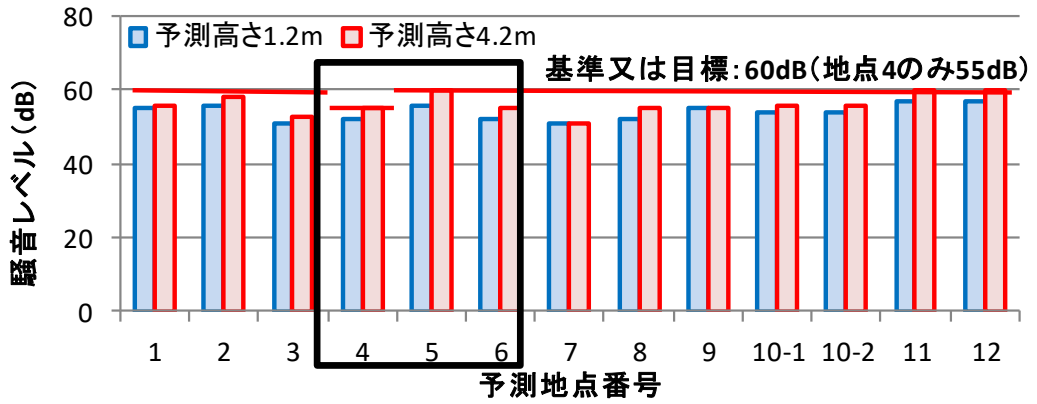
- ・ 遮音壁の設置

### ③自動車の走行に係る騒音：予測・評価結果（夜間）

#### 【近接空間】



#### 【背後地】



注) 予測地点番号10-1、10-2は平面予測を行ったうえで、保全すべき対象等の位置を考慮して予測結果を示しています。

注) 予測地点4、5、6の騒音レベルは、環境保全措置として「遮音壁の設置」を実施した場合の予測結果を示しています。

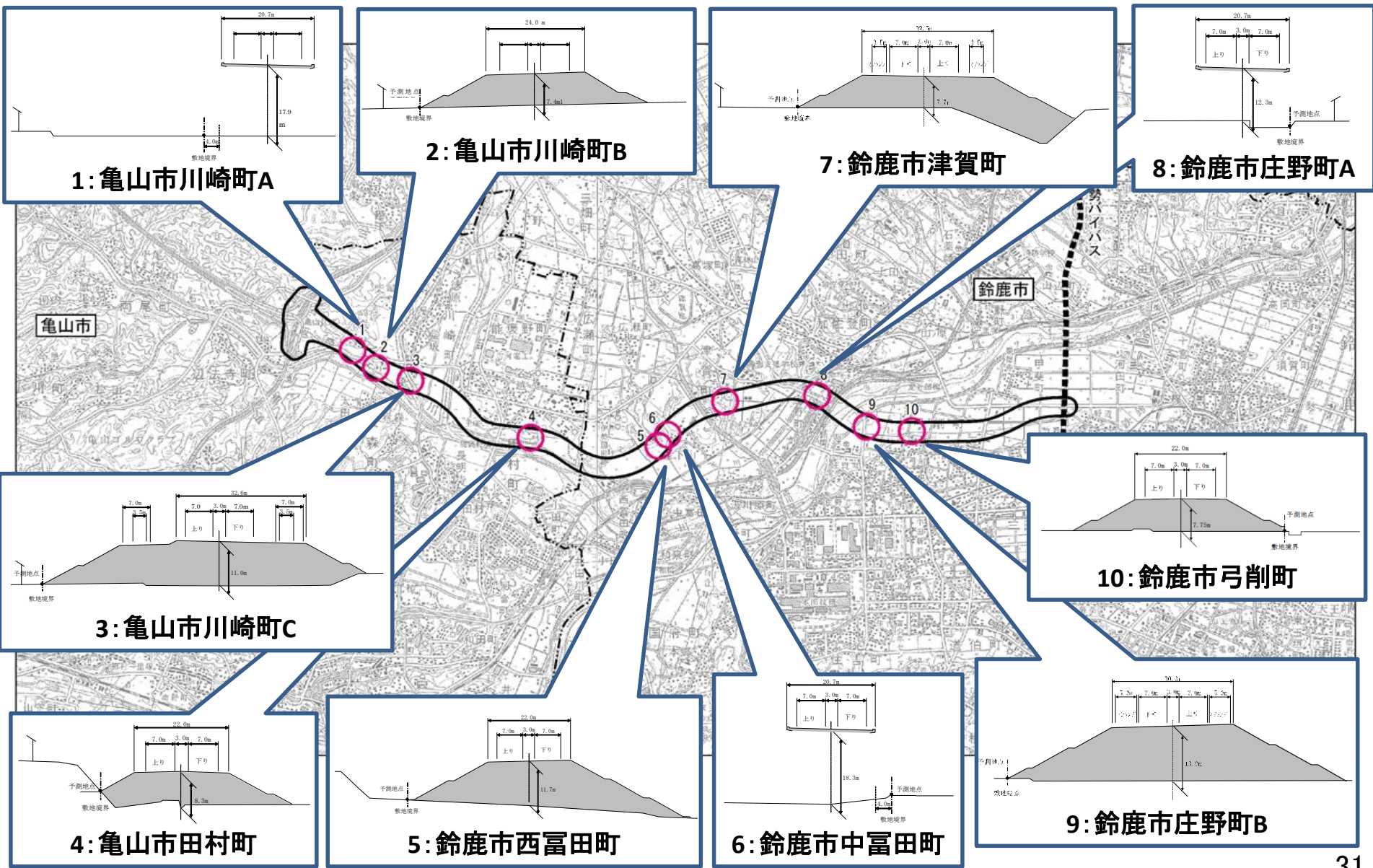
【予測結果】 騒音レベルは、全ての地点において、基準又は目標値（環境基準値）を下回っている。  
 ※予測地点4、5、6は、環境保全措置として遮音壁を設置することにより、基準又は目標との整合性が図られる。

【環境保全措置】  
 ・遮音壁の設置

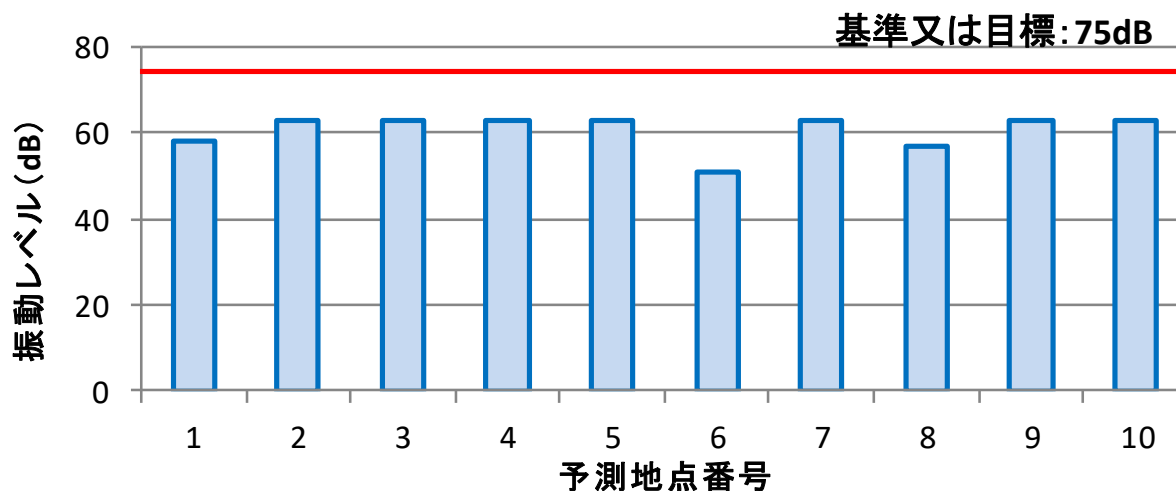
- 【評価結果】
- ✓ 回避又は低減に係る評価 : ○
  - ✓ 基準又は目標との整合性の検討 : ○



① 建設機械の稼働に係る振動：予測地点



## ①建設機械の稼働に係る振動：予測・評価結果



### 【予測結果】

振動レベルは、全ての地点において、基準又は目標値（振動規制基準）を下回っている。

### 【環境保全措置】

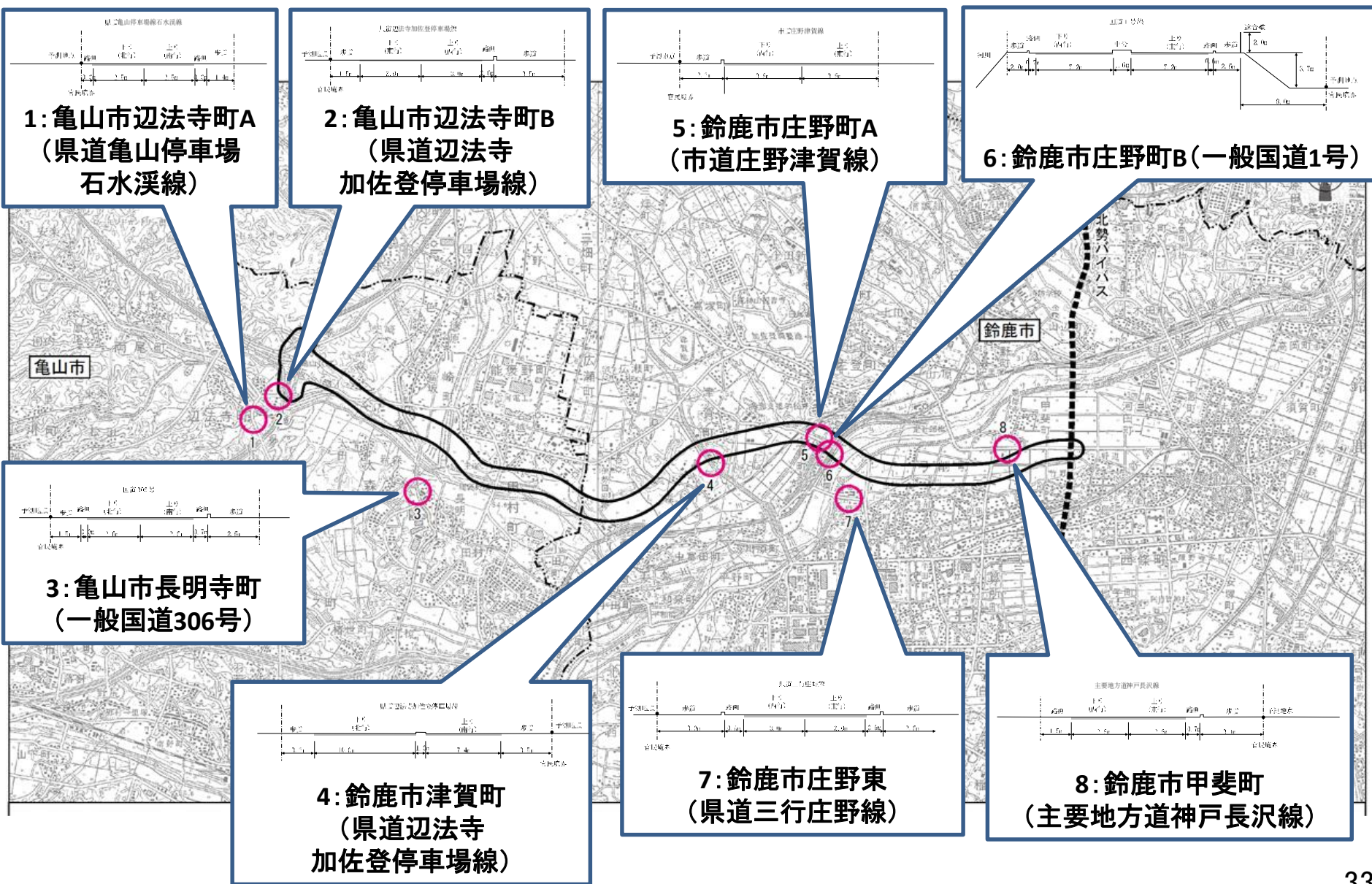
- ・ 作業者に対する建設機械の取り扱いの指導
- ・ 建設機械の集中稼働を避けた効率的稼働

### 【評価結果】

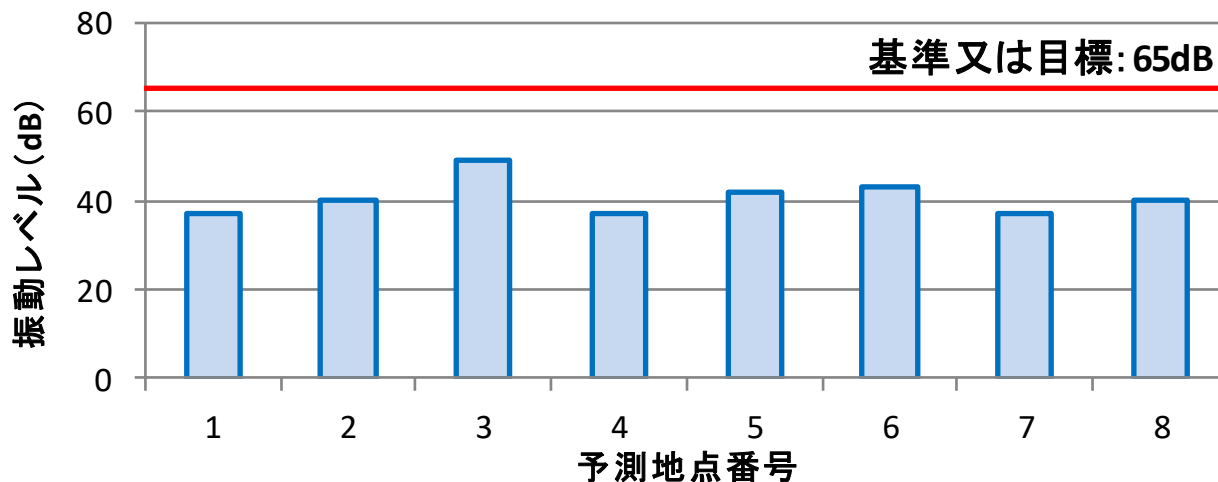
- ✓ 回避又は低減に係る評価 : ○
- ✓ 基準又は目標との整合性の検討 : ○



## ② 工事用車両の運行に係る振動：予測地点



## ②工事用車両の運行に係る振動：予測・評価結果



### 【予測結果】

振動レベルは、全ての地点において、基準又は目標値（要請限度）を下回っている。

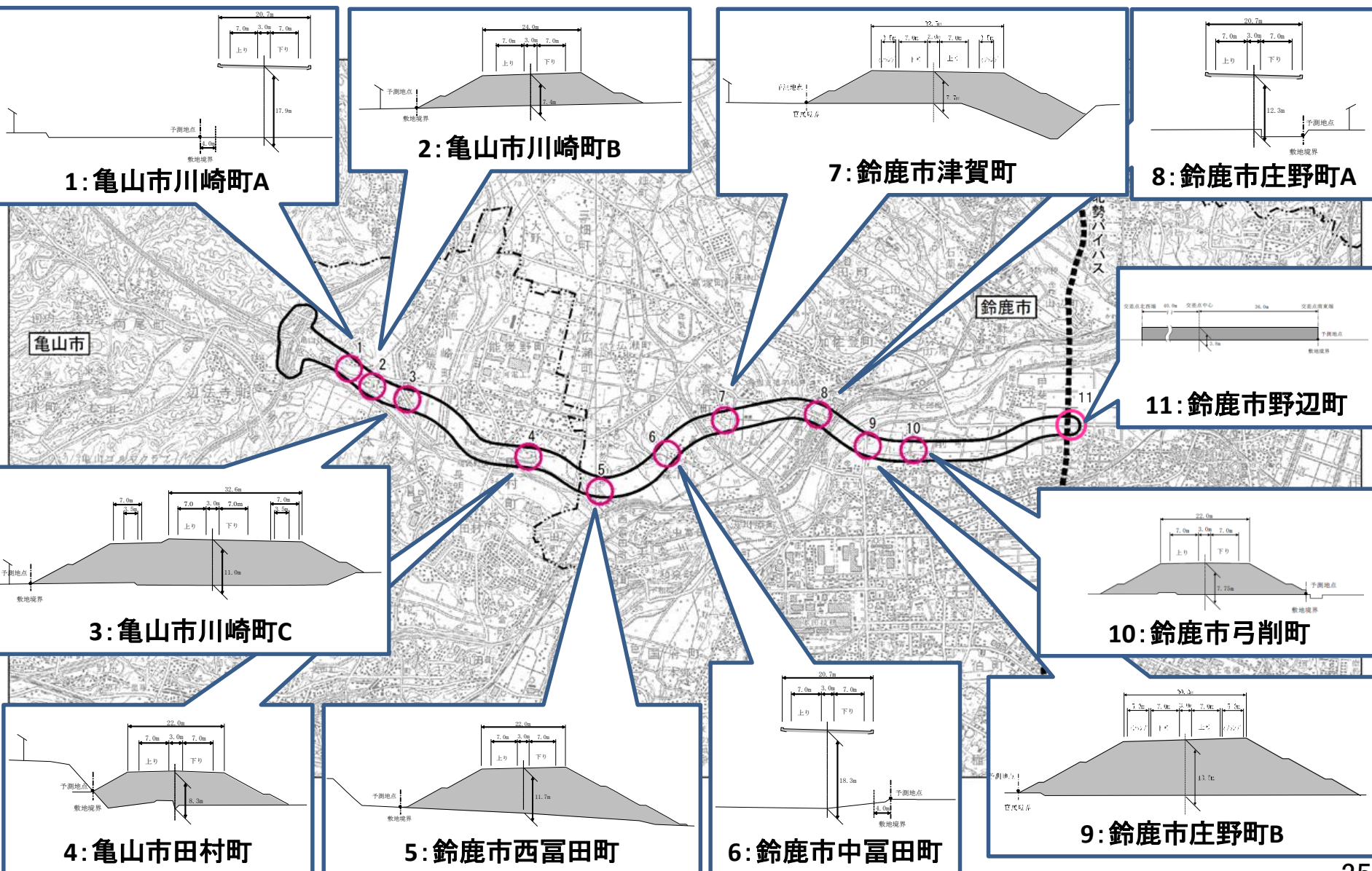
### 【環境保全措置】

- ・工事用車両の運行の分散
- ・作業者に対する工事用車両の運行の指導

### 【評価結果】

- ✓ 回避又は低減に係る評価 : ○
- ✓ 基準又は目標との整合性の検討 : ○

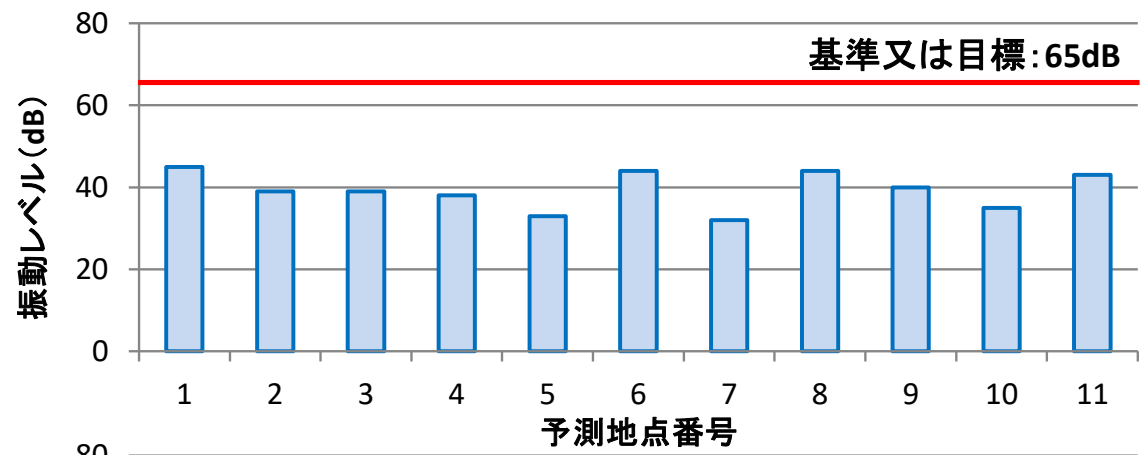
③自動車の走行に係る振動：予測地点



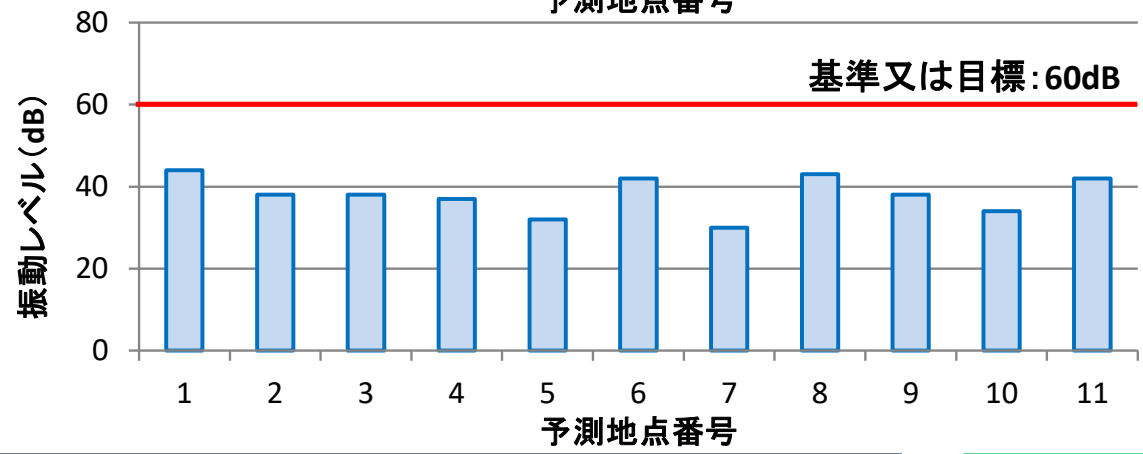


### ③自動車の走行に係る振動：予測・評価結果

【昼間】



【夜間】

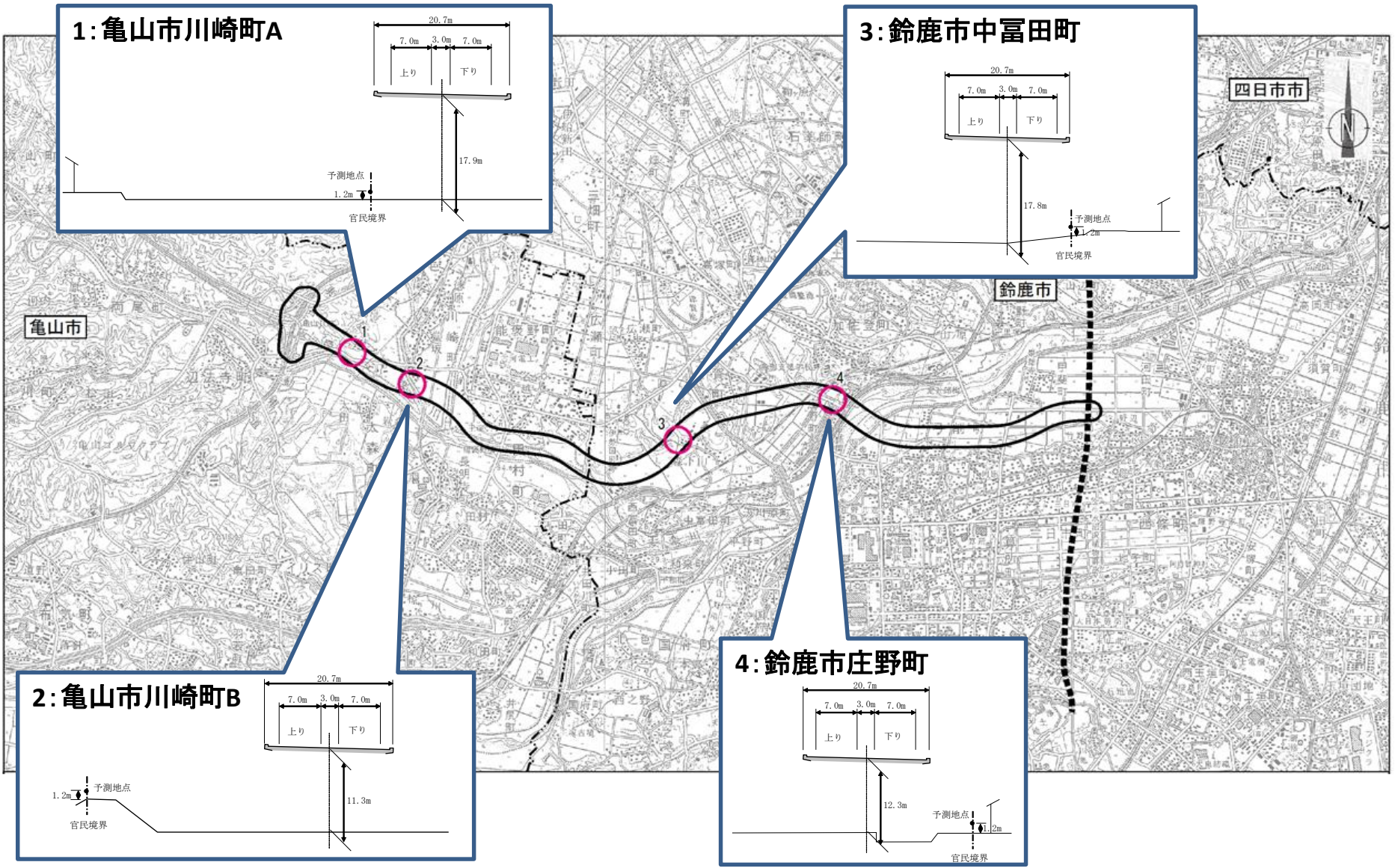


**【予測結果】**  
 振動レベルは、全ての地点において、昼間、夜間ともに基準又は目標値（要請限度）を下回っている。

**【環境保全措置】**  
 ・高架のジョイント削減

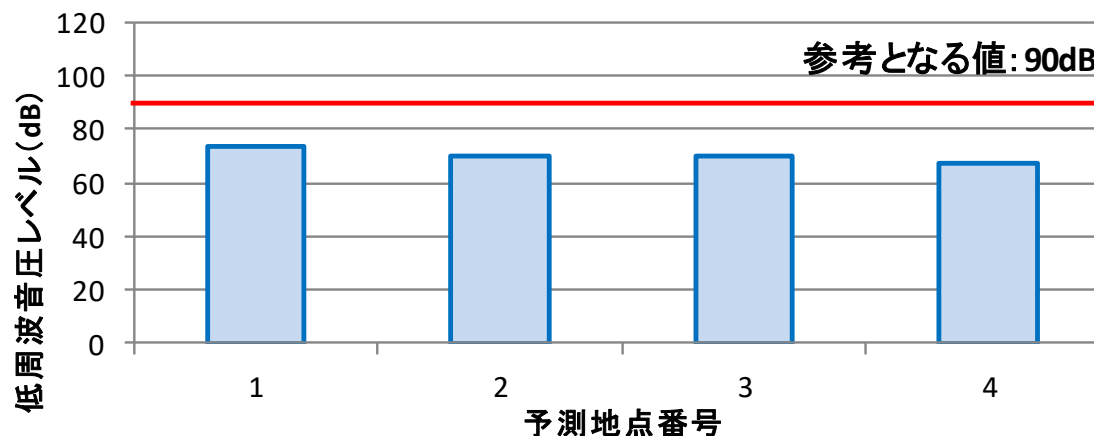
- 【評価結果】**
- ✓ 回避又は低減に係る評価 : ○
  - ✓ 基準又は目標との整合性の検討 : ○

①自動車の走行に係る低周波音：予測地点

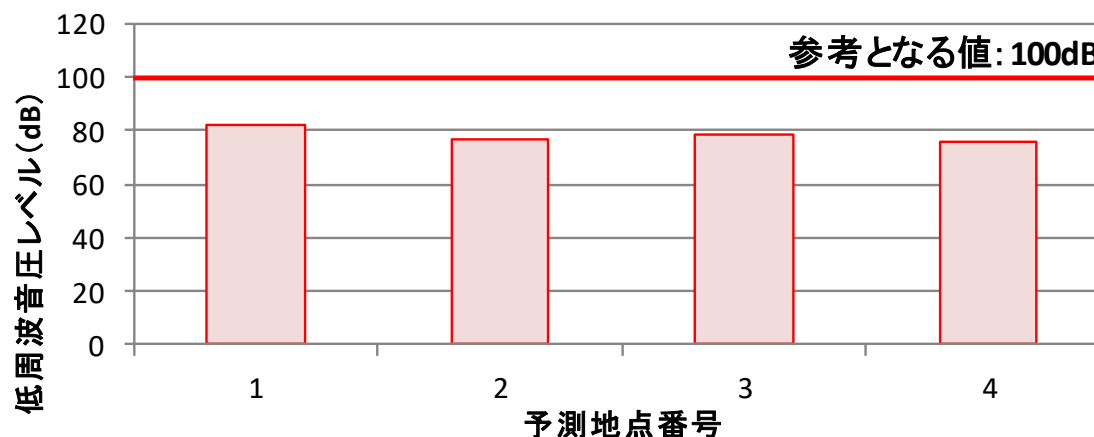


## ①自動車の走行に係る低周波音：予測・評価結果

【参考指標：L<sub>50</sub>】



【参考指標：L<sub>G5</sub>】



### 【予測結果】

低周波音圧レベルは、全ての地点において、参考となる値を下回っている。

### 【環境保全措置】

- ・高架のジョイント削減

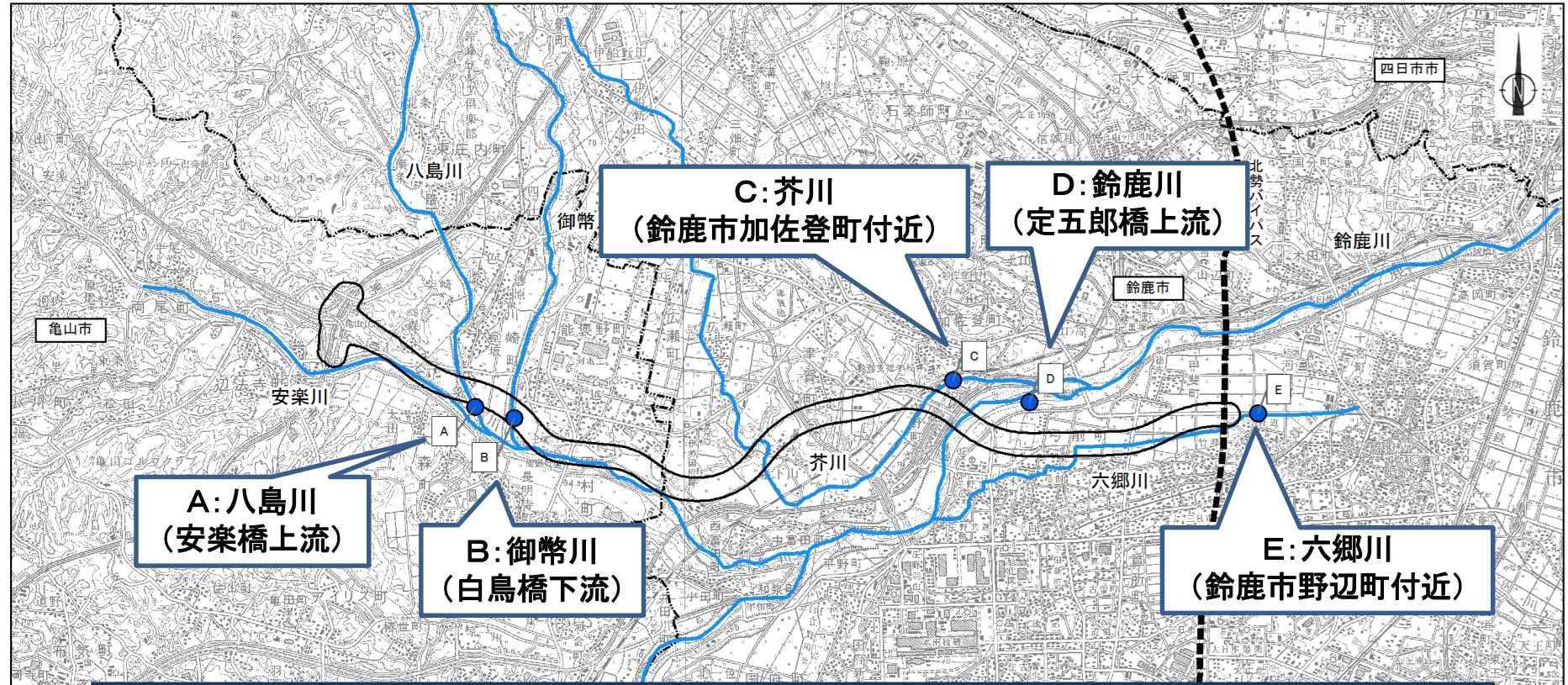
【評価結果】

✓ 回避又は低減に係る評価

: ○



①切土工等、工事施工ヤード及び工事用道路等の設置に係る水の濁り  
：予測地点及び予測・評価結果

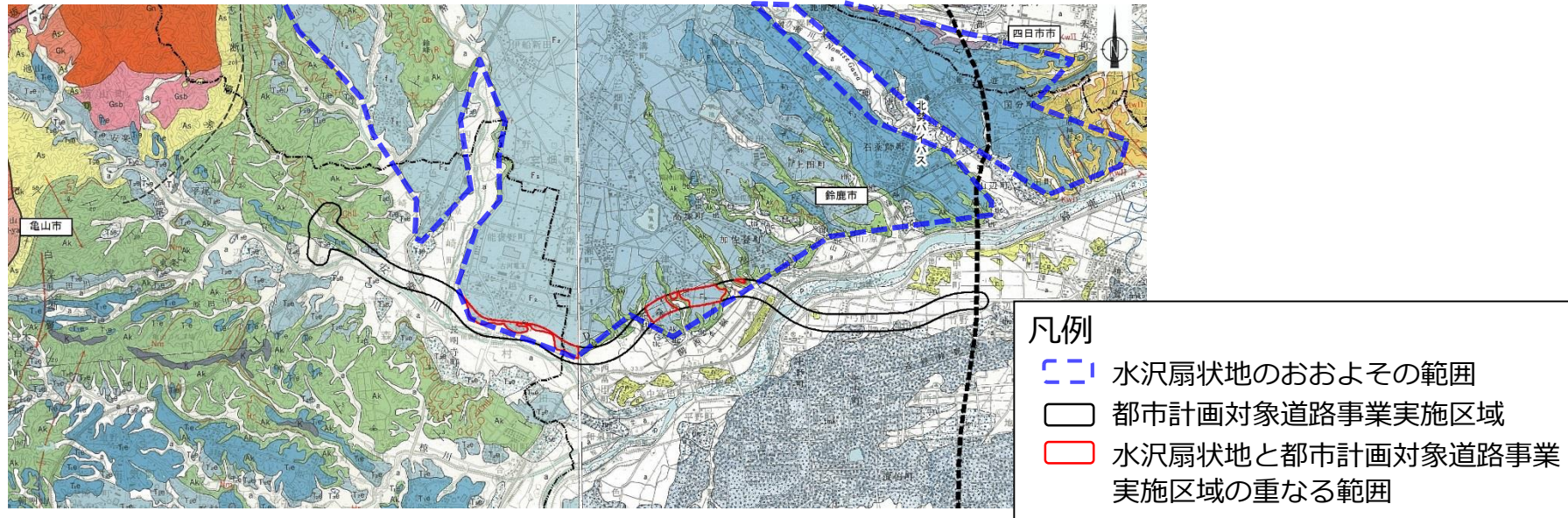


【予測結果】 土工部（盛土）に対して、「盛土の仮置き抑制」、「土工部の速やかな転圧」、「のり面等の早期の緑化やシート張り等による裸地化の抑制」等を実施することにより、環境影響の程度は極めて小さいと予測されます。

【評価結果】 ✓ 回避又は低減に係る評価 : ○



## ① 工事施工ヤード及び工事用道路等の設置、道路の存在に係る重要な地形及び地質：予測・評価結果



### 【予測結果】

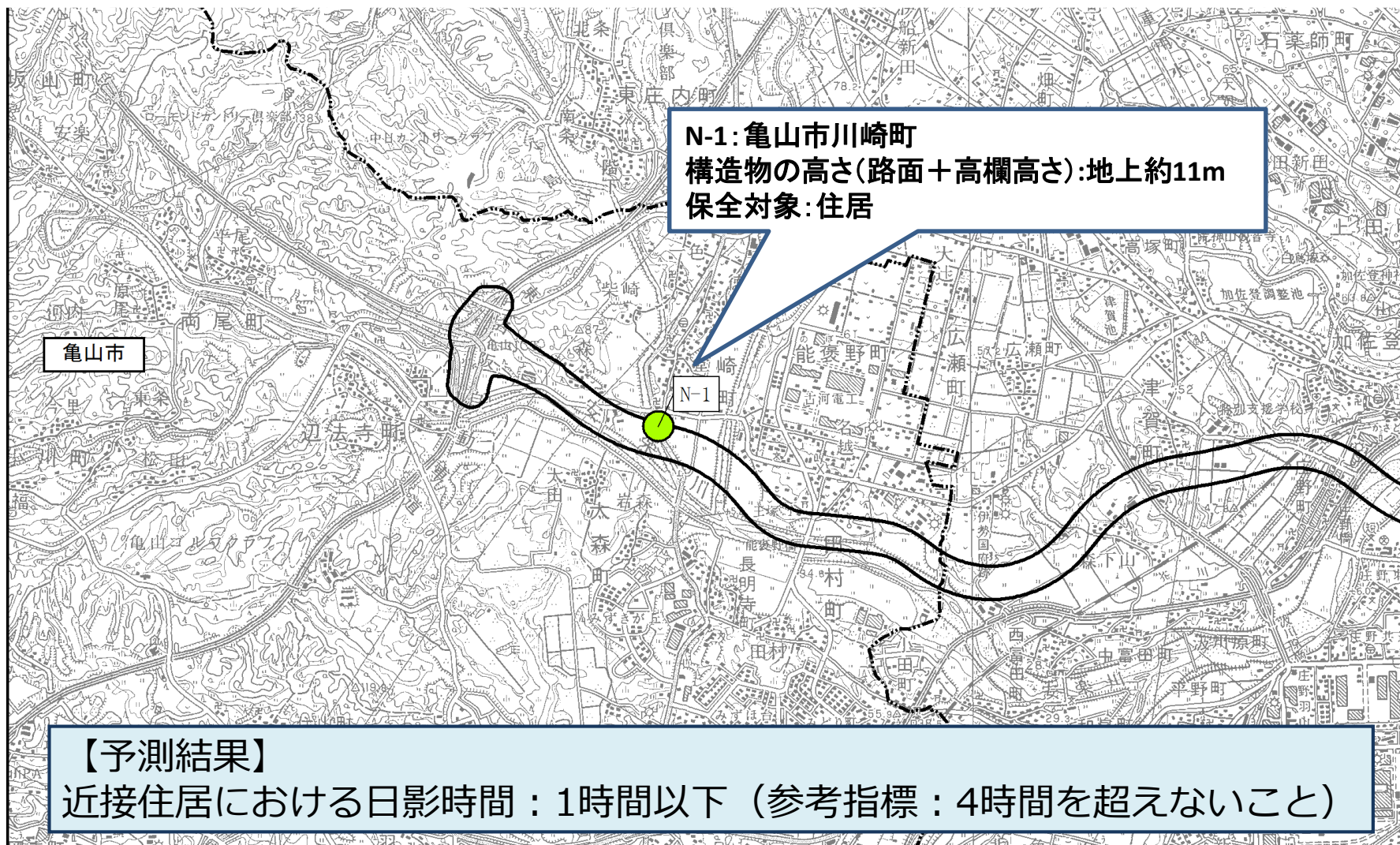
重要な地形である水沢扇状地は、その分布域の一部と都市計画対象道路事業実施区域が重なっていますが、その改変面積は水沢扇状地全体と比較するとわずかであること、また都市計画対象道路事業実施区域は水沢扇状地の端部を盛土構造若しくは高架構造で通過すると想定されていることから、扇状地及びそれに付随する地下水への影響は極めて小さいと予測されます。

### 【評価結果】

✓ 回避又は低減に係る評価 : ○



①道路の存在に係る日照障害：予測地点及び予測・評価結果



【評価結果】  
 ✓ 回避又は低減に係る評価 : ○

## 4-2.生物の多様性の確保及び 自然環境の体系的保全に係る項目

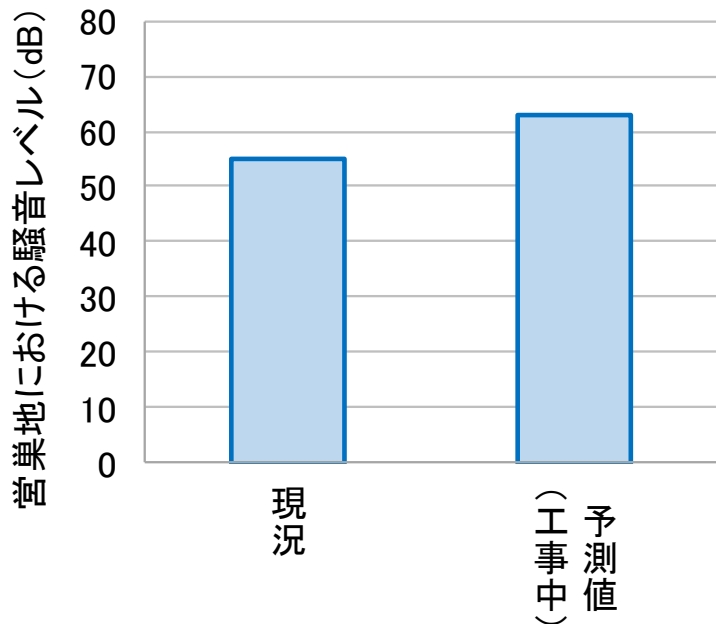
動物、植物、生態系

①建設機械の稼働に係る動物：予測結果

【予測結果】

営巣地での騒音レベルは現況では55dBであり、工事中の騒音レベルの予測値は約63dBです。

現地調査の結果では、オオタカは周辺に存在する工場等、既存の人為的発生源の騒音に対して順応し繁殖に成功しています。しかし、一時的に建設機械の稼働によって騒音が発生し繁殖活動へ影響する可能性があると考えられます。



保全対象	環境保全措置	事後調査
オオタカ	オオタカの繁殖状況調査	オオタカに係る繁殖状況
	施工時期の検討	



- ・環境省RL2019：NT（準絶滅危惧）
- ・県RDB2015：VU（絶滅危惧Ⅱ類）



②工事施工ヤード及び工事用道路等の設置、道路の存在に係る動物  
：予測及び評価結果

区分	種数	保全対象種
哺乳類	0種	—
鳥類	16種	オオタカ
爬虫類	2種	—
両生類	1種	—
魚類	9種	—
クモ類・昆虫類	18種	—
その他無脊椎動物	4種	アツブタガイ、ウメムラシタラガイ



・県RDB2015：NT (準絶滅危惧)



・環境省RL2019：NT (準絶滅危惧)  
・県RDB2015：NT (準絶滅危惧)

【予測結果】 現地調査及び既存文献調査において確認された重要な種のうち、一般的な環境保全方針を考慮しても影響を受ける可能性があると考えられる種は、「オオタカ」「アツブタガイ」「ウメムラシタラガイ」の3種と予測されます。

保全対象	環境保全措置	事後調査
オオタカ	希少猛禽類の繁殖状況調査	オオタカに係る繁殖状況
	施工時期の検討	
アツブタガイ	重要な動物種の移設	移設後の保全対象の生息状況
ウメムラシタラガイ		

【評価結果】 ✓ 回避又は低減に係る評価 : ○

① 工事施工ヤード及び工事用道路等の設置、道路の存在に係る植物  
： 予測及び評価結果

区分	種数	保全対象種
植物種	22種	ヒメミズワラビ、シソクサ、ホシクサ
群落	-	-

【予測結果】 現地調査及び既存文献調査において確認された重要な種のうち、一般的な環境保全方針を考慮しても影響を受ける可能性があると考えられる種は、「ヒメミズワラビ」「シソクサ」「ホシクサ」の3種と予測されます。

保全対象	環境保全措置	事後調査
ヒメミズワラビ	重要種の移植 ※移植地決定のための試験移植を含む	移植後の保全対象の生育状況
シソクサ		
ホシクサ		



・近畿RDB：準（準絶滅危惧種）



・近畿RDB：C（絶滅危惧種C）

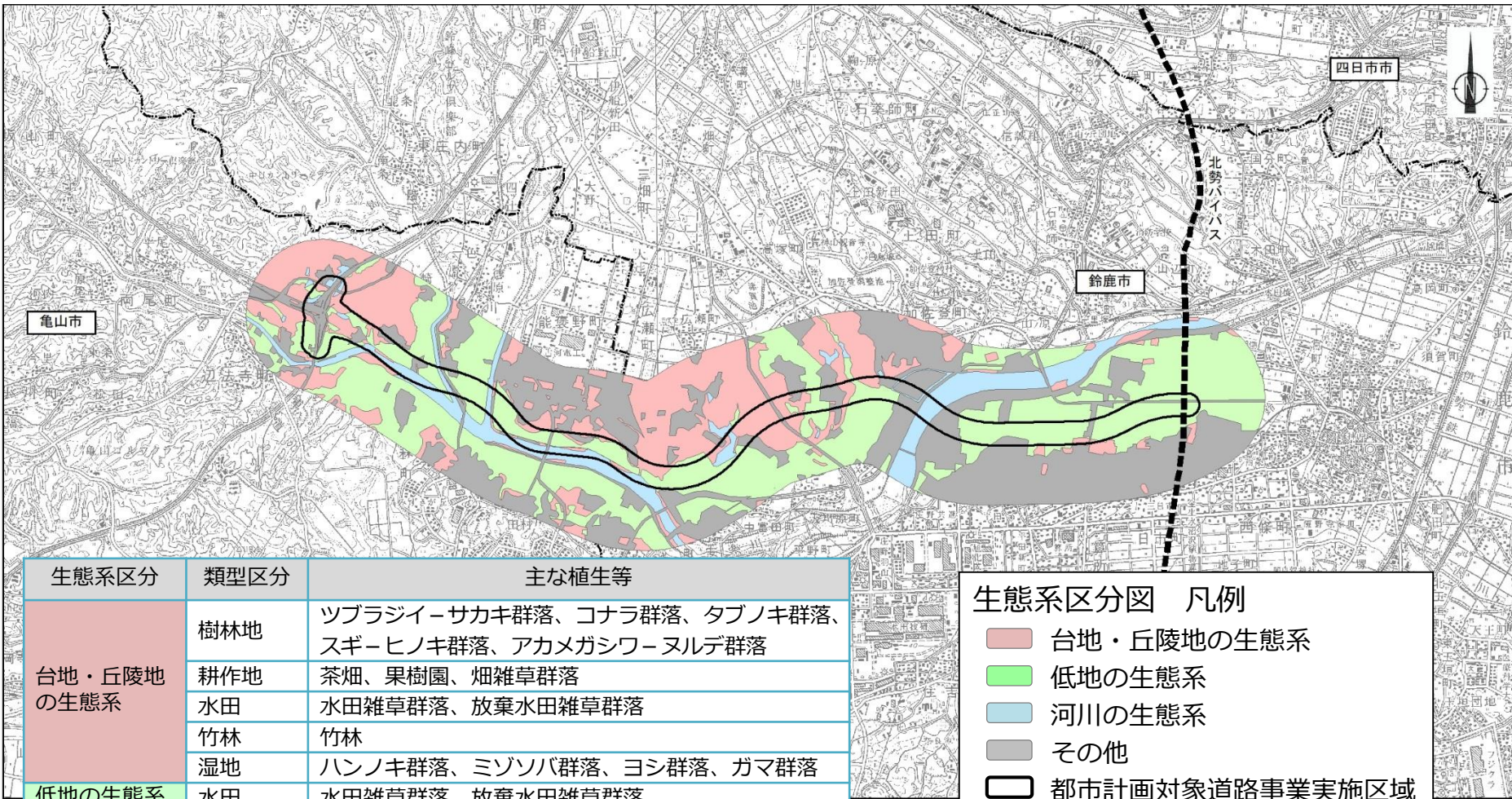


・近畿RDB：C（絶滅危惧種C）

【評価結果】 ✓ 回避又は低減に係る評価 : ○



① 工事施工ヤード及び工事用道路等の設置、道路の存在に係る生態系  
 : 地域を特徴づける生態系の区分 (自然環境類型区分図)



生態系区分	類型区分	主な植生等
台地・丘陵地の生態系	樹林地	ツブラジイ-サカキ群落、コナラ群落、タブノキ群落、スギ-ヒノキ群落、アカメガシワ-ヌルデ群落
	耕作地	茶畑、果樹園、畑雑草群落
	水田	水田雑草群落、放棄水田雑草群落
	竹林	竹林
	湿地	ハンノキ群落、ミゾソバ群落、ヨシ群落、ガマ群落
低地の生態系	水田	水田雑草群落、放棄水田雑草群落
河川の生態系	水域	開放水域
	裸地	自然裸地、セイタカアワダチソウ群落
	草地	ツルヨシ群落、クズ群落
	樹林地	エノキ-ムクノキ群落

生態系区分図 凡例

- 台地・丘陵地の生態系
- 低地の生態系
- 河川の生態系
- その他
- 都市計画対象道路事業実施区域



① 工事施工ヤード及び工事用道路等の設置、道路の存在に係る生態系  
 : 予測及び評価結果

生態系区分	注目種・群集		予測結果	
			工事の実施	道路の存在
台地・丘陵地の生態系	上位性	オオタカ	生息環境の縮小の可能性 環境変化による繁殖阻害の可能性 建設騒音による繁殖への影響	生息環境の縮小の可能性 環境変化による繁殖阻害の可能性
	典型性	アカネズミ	—	ロードキル
低地の生態系	上位性	オオタカ	生息環境の縮小の可能性 環境変化による繁殖阻害の可能性 建設騒音による繁殖への影響	生息環境の縮小の可能性 環境変化による繁殖阻害の可能性
		キツネ	—	ロードキル
	典型性	ヘイケボタル	—	道路照明による影響
		ゲンジボタル	—	道路照明による影響
河川の生態系	上位性	イタチ類	—	ロードキル

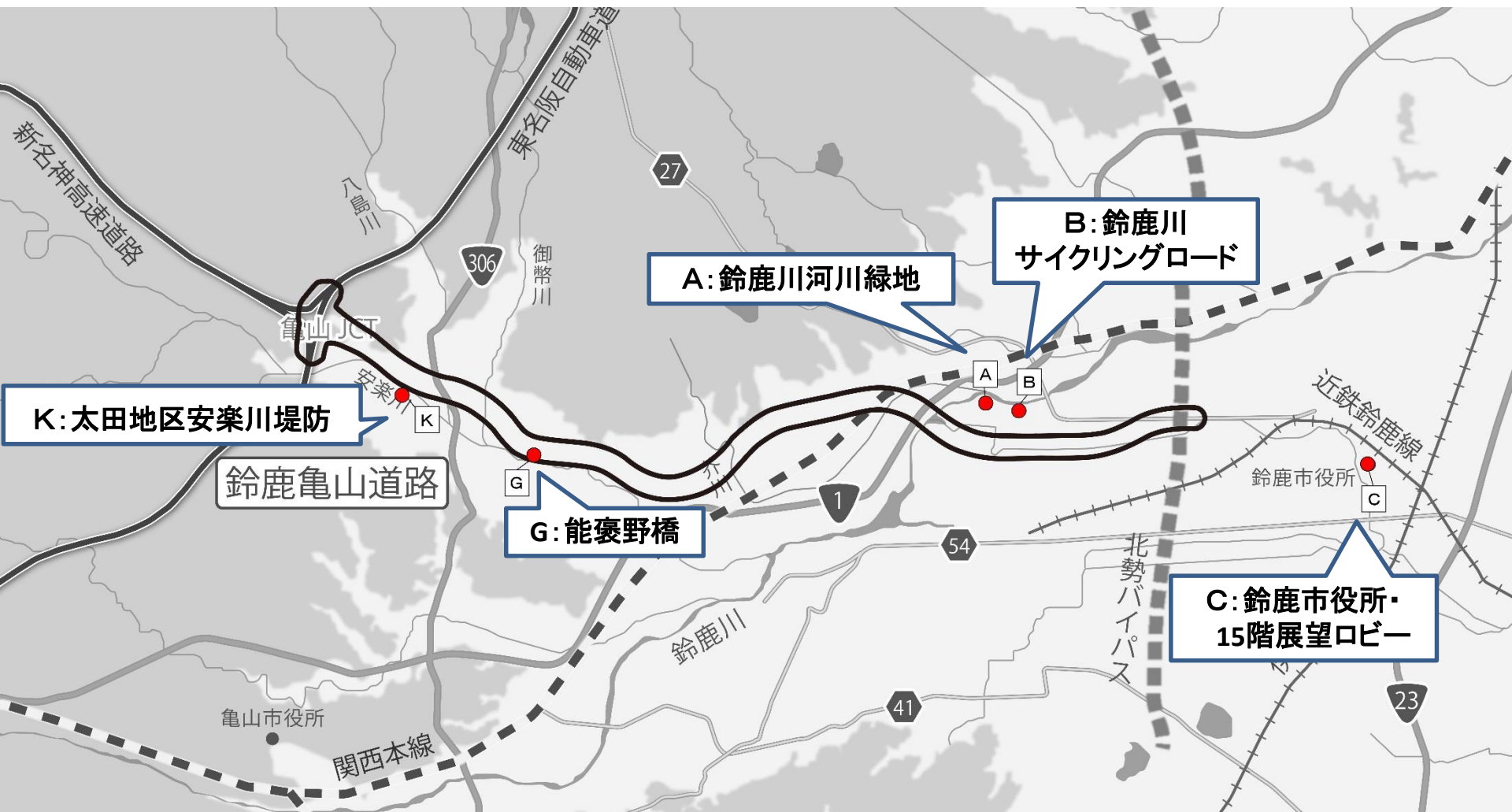
保全対象	環境保全措置	事後調査
オオタカ	オオタカの繁殖状況調査	オオタカに係る繁殖状況
	施工時期の検討	
ヘイケボタル、ゲンジボタル	照明器具の改良	
アカネズミ、キツネ、イタチ類	移動経路の確保(ボックスカルバートや誘導柵、侵入防止柵の設置)	

【評価結果】 ✓ 回避又は低減に係る評価 : ○

## 4-3.人と自然との豊かな 触れ合いに係る項目等

景観、人と自然との触れ合いの活動の場、  
歴史的文化的な遺産、廃棄物等

## ①道路の存在に係る景観：予測地点（主要な眺望点）





## ①道路の存在に係る景観：予測・評価結果

### 1. 主要な眺望点及び景観資源の改変の程度

- ・ 主要な眺望点は改変はなく、影響はないと予測されます。
- ・ 景観資源（水沢扇状地及び鈴鹿川）は一部が改変されます。

### 2. 主要な景観の変化の程度

【鈴鹿川河川緑地】：対象道路の橋梁が出現し、眺望景観に変化が生じます。



【鈴鹿川サイクリングロード】：対象道路の橋梁が出現しますが、変化の程度は小さいと考えられます。



【鈴鹿市役所・15階展望ロビー】：対象道路及び盛土法面等が出現しますが、変化の程度は小さいと考えられます。





【能褒野橋】：対象道路及びその盛土法面等が出現し、水平角度に対して眺望景観に変化が生じます。



【太田地区安楽川堤防】：対象道路及びその盛土が出現しますが、変化の程度は小さいと考えられます。



【環境保全措置】・橋梁及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討

【評価結果】 ✓ 回避又は低減に係る評価 : ○



①道路の存在に係る人と自然との触れ合いの活動の場

：予測地点、予測及び評価結果

名称	予測結果
鈴鹿川河川緑地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鈴鹿川河川緑地の改変及び利用性の変化は生じない。</li> <li>・橋梁の出現により上空の風景に変化が生じる。</li> <li>・現状では日陰を形成する樹木及び施設等がない箇所に、日陰を形成する橋梁ができる。</li> </ul>
鈴鹿川サイクリングロード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鈴鹿川サイクリングロードの改変、分断による利用性の変化及び利用者の快適性の変化は生じない</li> </ul>



1: 鈴鹿川河川緑地



2: 鈴鹿川サイクリングロード

【環境保全措置】  
 ・橋梁及び道路附属物の形式、デザイン、色彩の検討

【評価結果】 ✓ 回避又は低減に係る評価

： ○

① 工事施工ヤード及び工事用道路等の設置、道路の存在に係る  
歴史的文化的な遺産：予測地点、予測及び評価結果



1: 峯城跡



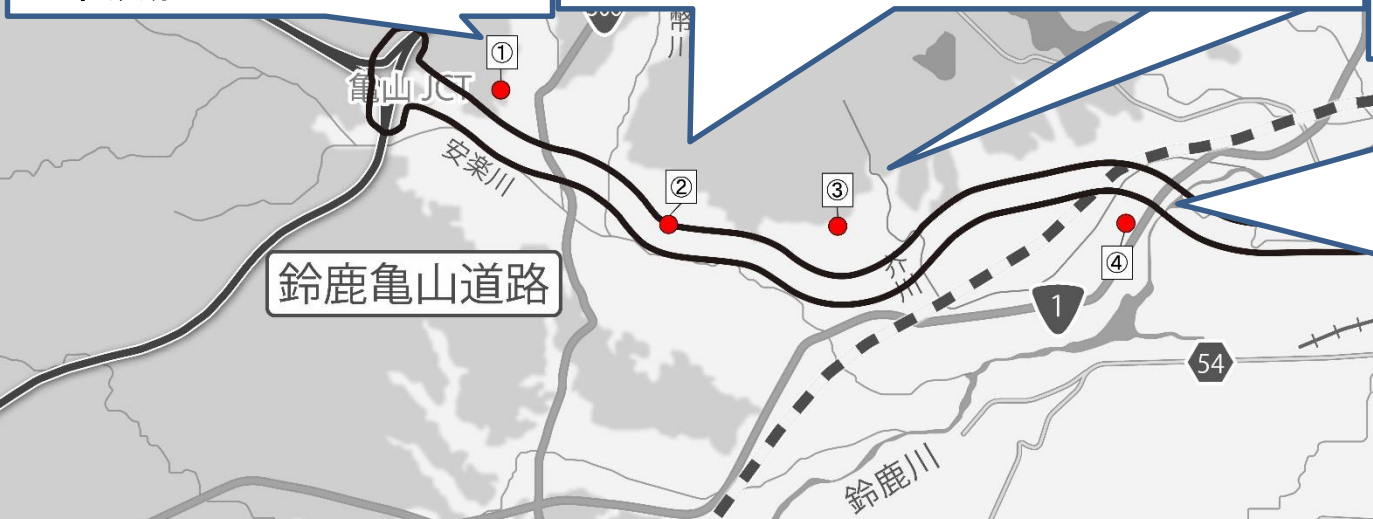
2: 能褒野王塚古墳



3: 伊勢国府跡



4: 庄野宿・旧小林家住宅



【予測結果】 都市計画対象道路事業実施区域及びその周囲において環境影響を受けるおそれのある伊勢国府跡、峯城跡、庄野宿・旧小林家住宅、能褒野王塚古墳について、アクセスに影響は生じず、改変は生じないと予測されます。

【評価結果】 ✓ 回避又は低減に係る評価 : ○

## ①切土工等又は既存の工作物の除去に係る廃棄物等

工事に伴い発生する量		都市計画対象道路事業実施区域内での利用量		都市計画対象道路事業実施区域外に搬出する量	
土工 (地山m <sup>3</sup> )	合計 (地山m <sup>3</sup> )	土工 (地山m <sup>3</sup> )	利用率	建設発生土量(運搬土量)(地山m <sup>3</sup> )	搬出率
43,547	43,547	43,547	100.0%	0	0.0%

### 【予測結果】

本事業で発生すると予測される建設発生土は約4万地山m<sup>3</sup>であり、全てを都市計画対象道路事業実施区域内で再利用する計画としています。

### 【評価結果】

✓ 回避又は低減に係る評価

: ○



予測・評価の結果及び事後調査

環境要素		大気質			騒音	振動	低周波音	水質	地形及び地質	日照障害	動物	植物	生態系	景観	人と自然との触れ合いの活動の場	歴史的・文化的な遺産	廃棄物等
		二酸化窒素	浮遊粒子状物質	粉じん等													
影響要因																	
工事の実施		●	●	●	●	●		●	●		●	●	●			●	●
存在及び供用	道路の存在							●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	自動車の走行	●	●		●	●	●										

■：基準又は目標値、参考値を満足及び影響が無い又は小さいと予測・評価した項目

■：環境保全措置を実施することで、回避又は低減されていると評価した項目

事後調査の項目	
動物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オオタカに係る繁殖状況</li> <li>・移設後の保全対象（アツブタガイ、ウメムラシタラガイ）の生息状況</li> </ul>
植物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移植後の保全対象（ヒメミズワラビ、シソクサ、ホシクサ）の状況</li> </ul>
生態系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オオタカに係る繁殖状況</li> </ul>

総合評価

対象道路事業に係る環境の保全について、適正な配慮がなされていると評価します。



# 1-3 鈴鹿亀山道路 ルートの概要(1/4)

鈴鹿亀山道路のルートは、安楽川、八島川、御幣川、能褒野王塚古墳等を考慮し設定しました。





# 1-3 鈴鹿亀山道路 ルートの概要(2/4)

鈴鹿亀山道路のルートは、能褒野王塚古墳や伊勢国府跡等を考慮し設定しました。





# 1-3 鈴鹿亀山道路 ルートの概要(3/4)

鈴鹿亀山道路のルートは、能褒野王塚古墳や鈴鹿川渡河部等を考慮し設定しました。





# 1-3 鈴鹿亀山道路 ルートの概要(4/4)

鈴鹿亀山道路のルートは、土地利用等を考慮し、(都)北勢バイパス(鈴鹿四日市道路)に取付けます。

